

利用の手引き

令和 8 年10月改訂版



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立夜須高原青少年自然の家

〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山 1103

利用申込み・活動・料金に関するお問合せ

国立夜須高原青少年自然の家 事業推進室

※問合せ対応時間9:00～17:00(休館日を除く)

TEL 0946-42-5811

MAIL yasu-jigyoku@niye.go.jp

URL <https://yasu.niye.go.jp>

食事・食物アレルギーに関するお問合せ

コンパスグループ・ジャパン株式会社

夜須高原店(レストラン・売店運営委託)

TEL 0946-42-5992

MAIL 35512@compass-jpn.com

国立夜須高原青少年自然の家 エリアマップ





令和8年度10月版の主な改訂

No.	内容	該当箇所
1	各施設の備品及び宿泊室定員の変更 ・各施設の備品等について、見直しを行いました。 ・宿泊室定員の見直しを行いました。	1.1、1.3
2	貸出可能な用具の変更 ・貸出可能な用具とその数の見直しを行いました。	2.3
3	野外炊飯メニューの改定 ・野外炊飯メニューの1セットの内容を一部変更しました。	3.3.3
4	利用手続きに関する変更 ・利用申込み期間、利用当日の手続き、つどいについて一部変更しました。	4.2.2、4.3
5	利用手続きに関する変更 ・利用申込み期間、利用当日の手続きを一部変更しました。 ・宿泊室の寝具内容について一部変更しました。	5.2.3、5.2.4 5.3、5.4

※主な変更箇所・追記箇所は赤字としています。

目次

1 施設の概要

- 1.1 施設一覧…………… 1
- 1.2 館内図…………… 3
 - 1.2.1 本館配置図
 - 1.2.2 別館配置図
 - 1.2.3 キャンプ場
- 1.3 宿泊室見取り図…………… 6

2 施設での活動

- 2.1 活動の計画と安全…………… 9
 - 2.1.1 活動の計画
 - 2.1.2 安全管理
 - 2.1.3 食物アレルギー対応
 - 2.1.4 近隣医療機関等所在地
- 2.2 活動・生活に必要な持ち物…… 14
- 2.3 貸出し可能な用具…………… 14
- 2.4 活動プログラム…………… 16

3 利用料金

- 3.1 施設使用にかかる料金…………… 17
 - 3.1.1 施設使用料(宿泊)
 - 3.1.2 特別宿泊室使用料
 - 3.1.3 研修施設使用料(日帰り)
- 3.2 活動にかかる料金…………… 18
 - 3.2.1 特定研修活動指導料
 - 3.2.2 教材費
- 3.3 食事にかかる料金…………… 19
 - 3.3.1 レストラン食
 - 3.3.2 弁当・補食類
 - 3.3.3 野外炊飯
- 3.4 支払い方法…………… 22
- 3.5 キャンセルポリシー…………… 22

4 利用手続き

- 4.1 利用にあたって…………… 23
- 4.2 利用申込み手続き…………… 24
 - 4.2.1 手続きの流れ
 - 4.2.2 申込期間
 - 4.2.3 書類提出期限後の
利用申込み
 - 4.2.4 申込み内容の変更
- 4.3 利用当日の事務手続き…… 26

5 利用時のルール

- 5.1 標準生活時間…………… 28
- 5.2 施設の使い方…………… 31
 - 5.2.1 屋内研修施設
 - 5.2.2 屋外研修施設
 - 5.2.3 宿泊施設
 - 5.2.4 入浴施設
 - 5.2.5 レストラン
 - 5.2.6 売店
- 5.3 ごみの処理…………… 38
- 5.4 飲酒・喫煙…………… 39
- 5.5 駐車場…………… 39

6 提出書類

- 6.1 活動日程表…………… 41
- 6.2 食数表…………… 42
- 6.3 食物アレルギー事前確認票・ 43
- 6.4 施設使用料金に係る
一部免除申請書…… 44
- 6.5 野外炊飯実施計画書…………… 45
- 6.6 宿泊利用者等名簿…………… 46

- 7 国立夜須高原青少年自然の家
について… 47

1 施設の概要

1.1 施設一覧

場所	施設名	収容人数	▶主な用途 ○備品等
本館サービスゾーン	事務室	-	▶ 手続き、物品貸出し ○AED
	保健室	2	▶ 傷病者の一時休養 ○ベッド×2、担架×2、車いす×2
	宿直室	-	▶ 宿直職員の待機場所
	ゲストルーム	3	▶ 利用団体が招聘した講師等の宿泊 ※別途使用料が必要 ○洋室×2、和室×1、講師等浴室(共用)
	玄関ホール	100	▶ 集合場所、入退所式
	ラーニングルーム 1	36	▶ 研修 ○1人掛け机×36、いす×36、黒板、スクリーン、Wi-Fi
	ラーニングルーム 2	81	▶ 研修 ○3人掛け机×27、いす×81、黒板、スクリーン、Wi-Fi
	ラーニングルーム 3	81	▶ 研修、キャンドルのつどい ○3人掛け机×27、いす×81、黒板、スクリーン、Wi-Fi
	ラーニングルーム 4	120	▶ 研修、キャンドルのつどい ○3人掛け机×40、いす×120、白板、スクリーン、Wi-Fi
本館ライフゾーン	レストラン	224	○8人掛け卓×17、6人掛け卓×2、4人掛け卓×19 ○給湯機×4(50℃お湯・お茶×3、90℃お湯・お茶×1)、冷水機×2
	売店	-	▶ 現金精算窓口、教材購入 ※営業時間 9:00~17:00
	コインロッカー	-	○預入れボックス×5(100 円硬貨リターン式)
	レインボーホール	100	▶ 集合場所、入退所式
	リネン室	-	▶ シーツ・枕カバーの受取り・返却
	洗濯室	-	○洗濯機×4(4.5kg×3、5.5kg×1)
	大浴場	100	○シャワー×32、脱衣棚×144、ドライヤー×4
	小浴場	50	○シャワー×20、脱衣棚×96、ドライヤー×3
	プレイホール	300	▶ スポーツ、レクリエーション活動、キャンドルのつどい ※室内履き必要 ○ミニバスケットボールコート2面、音響設備、AED、白板、スクリーン
	かんぽラジオ体操広場	300	▶ 朝・タベのつどい、集合場所、入退所式
ディスカバリーハウス	創作室	54	▶ 創作活動 ○6人掛け机×9、いす×54、黒板、スクリーン、手洗い場
	展示室	60	▶ 創作物展示、音楽活動 ○板間(10m×11m) ○AED※展示室外、建物入口に設置
	ラーニングルーム 5	192	▶ 研修 ○3人掛け机×64、いす×192、黒板、スクリーン、2分割可能
	和室	6	▶ 研修 ○畳間(10畳) ※冷蔵庫あり
	レクリエーション室	60	▶ レクリエーション活動、音楽活動 ○板間(16m×8m)

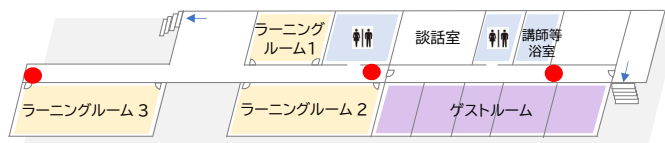
場所	施設名	収容人数	▶主な用途 ○備品等
スタードーム	ラーニングルーム 6	54	▶ 研修 ○3人掛け机×18、いす×54、黒板、スクリーン
	展示室	40	○ミニプラネタリウム ※故障中のため使用不可
	観察スペース	40	▶ 星空観察
	観測室(屋上)	10	▶ 天体観測 ○200mm 屈折式天体望遠鏡
エクспанションハウス	フリースペース	100	▶ 創作活動、野外炊飯準備 ○AED
	ラーニングルーム 7	108	▶ 研修 ○3人掛け机×36、いす×108、白板、スクリーン、Wi-Fi
	ラーニングルーム 8	12	▶ 研修 ○3人掛け机×4、いす×12、白板 ○ラーニングルーム9・10と連結可能
	ラーニングルーム 9	12	▶ 研修 ○3人掛け机×4、いす×12、白板 ○ラーニングルーム8・10と連結可能
	ラーニングルーム 10	12	▶ 研修 ○3人掛け机×4、いす×12、白板 ○ラーニングルーム8・9と連結可能
	ラーニングルーム 11	12	▶ 研修 ○3人掛け机×4、いす×12、白板 ○ラーニングルーム12と連結可能
	ラーニングルーム 12	21	▶ 研修 ○3人掛け座卓×7、白板、和室 ○ラーニングルーム 11 と連結可能
屋外研修施設	第2 炊飯場	96	▶ 野外炊飯、創作活動 ○かまど×16、流し場×4、作業台×4、6人掛け卓×15
	第3 炊飯場	108	▶ 野外炊飯、創作活動 ○かまど×18、流し場×6、作業台×6、6人掛け卓×12
	第4 炊飯場	96	▶ 野外炊飯、創作活動 ○かまど×16、流し場×4、作業台×4、6人掛け卓×8
	第5 炊飯場	96	▶ 野外炊飯、創作活動 ○かまど×16、流し場×4、作業台×4、6人掛け卓×6
	第1 キャンプファイヤー場	200	▶ キャンプファイヤー ○ファイヤーサークル
	第2 キャンプファイヤー場	50	▶ キャンプファイヤー ○ファイヤーサークル
	運動広場	-	▶ スポーツ、レクリエーション活動
	多目的コート	-	▶ テニス、レクリエーション活動 ○テニスコート1面
	草スキー場	-	▶ 草スキー
	オリエンテーリングコース	-	▶ オリエンテーリング、フィールドビンゴ、自然観察
	キャンプ場	108	▶ テント泊、自然観察 ○テントサイト×27、管理棟、シャワー室、AED
	キャンプ場炊飯場	72	▶ 野外炊飯、創作活動 ○かまど×12、流し場×12、作業台×7、6人掛け卓×12
宿泊施設	ドリーム A 棟	86	○20人用宿泊室×4(うぐいす・かっこう・ひよどり・めじろ) ○リーダー室×3(うぐいす・ひよどり・めじろ/各2人) ※各リーダー室に冷蔵庫あり ○多目的浴室 ○カームダウンルーム ○授乳室
	ドリーム B 棟	81	○2人用宿泊室×36 (あさかぜ12部屋、すいせい11部屋、みずほ13部屋) ○4人用宿泊室×2(あさかぜ・すいせい各1部屋)○多目的宿泊室
	ロッジ A 棟	42	○10人用宿泊室×4 ○リーダー室(2名)×1 ※リーダー室に冷蔵庫あり
	ロッジ B 棟	42	○10人用宿泊室×4 ○リーダー室(2名)×1 ※リーダー室に冷蔵庫あり

1.2 館内図

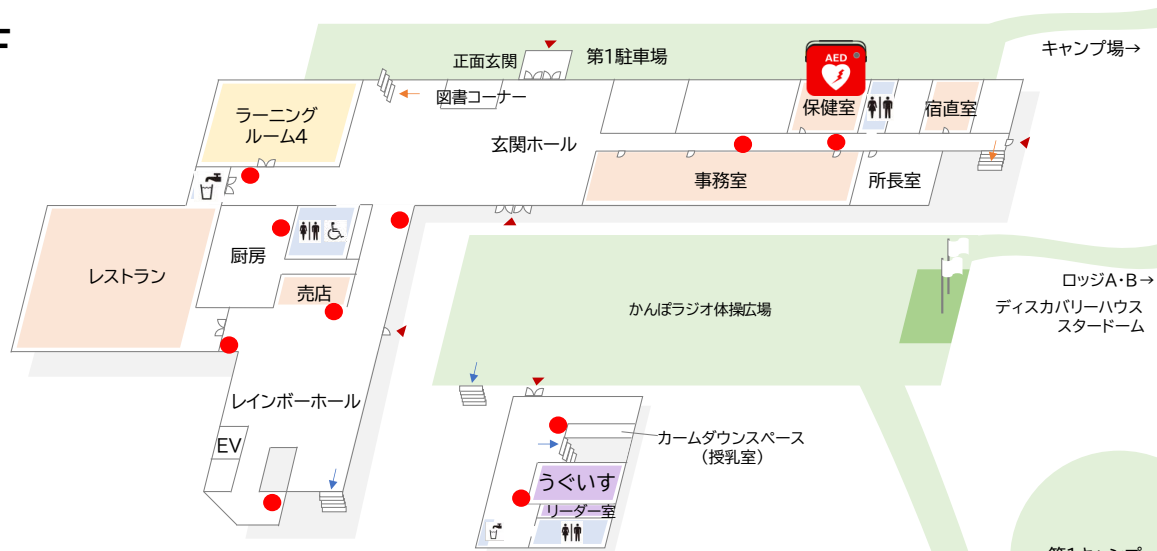
1.2.1 本館配置図

4F

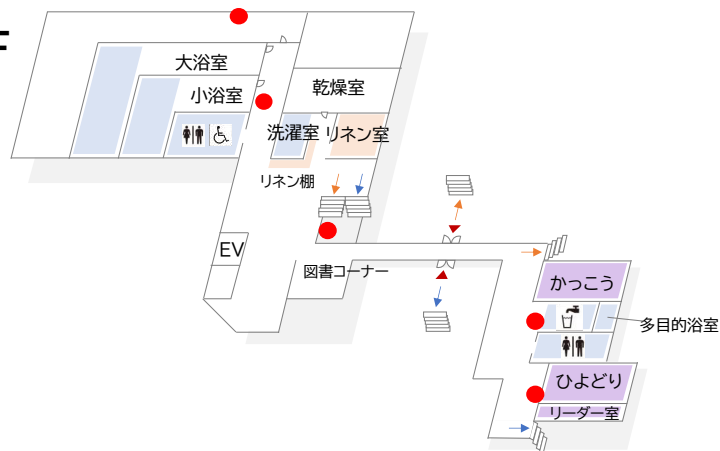
●:消火器



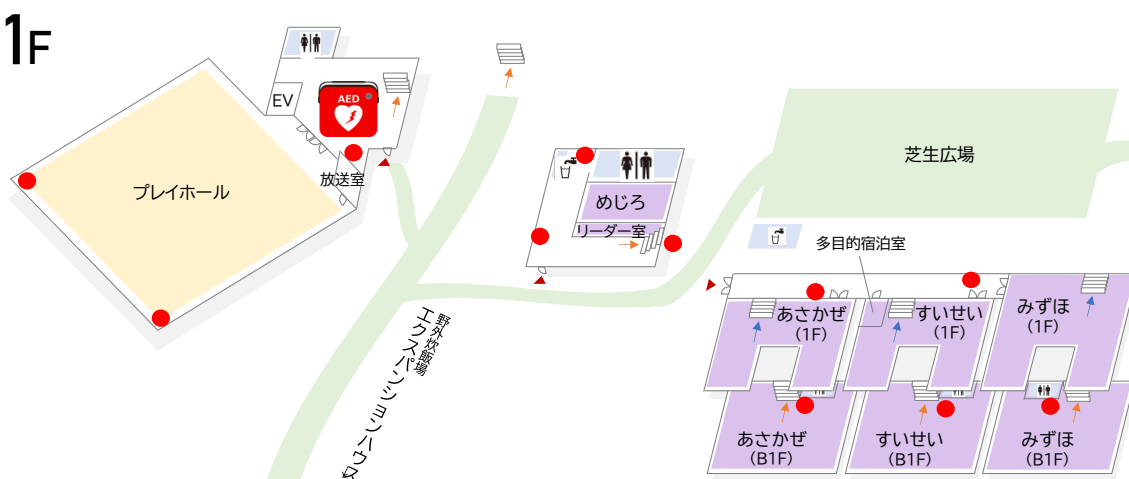
3F



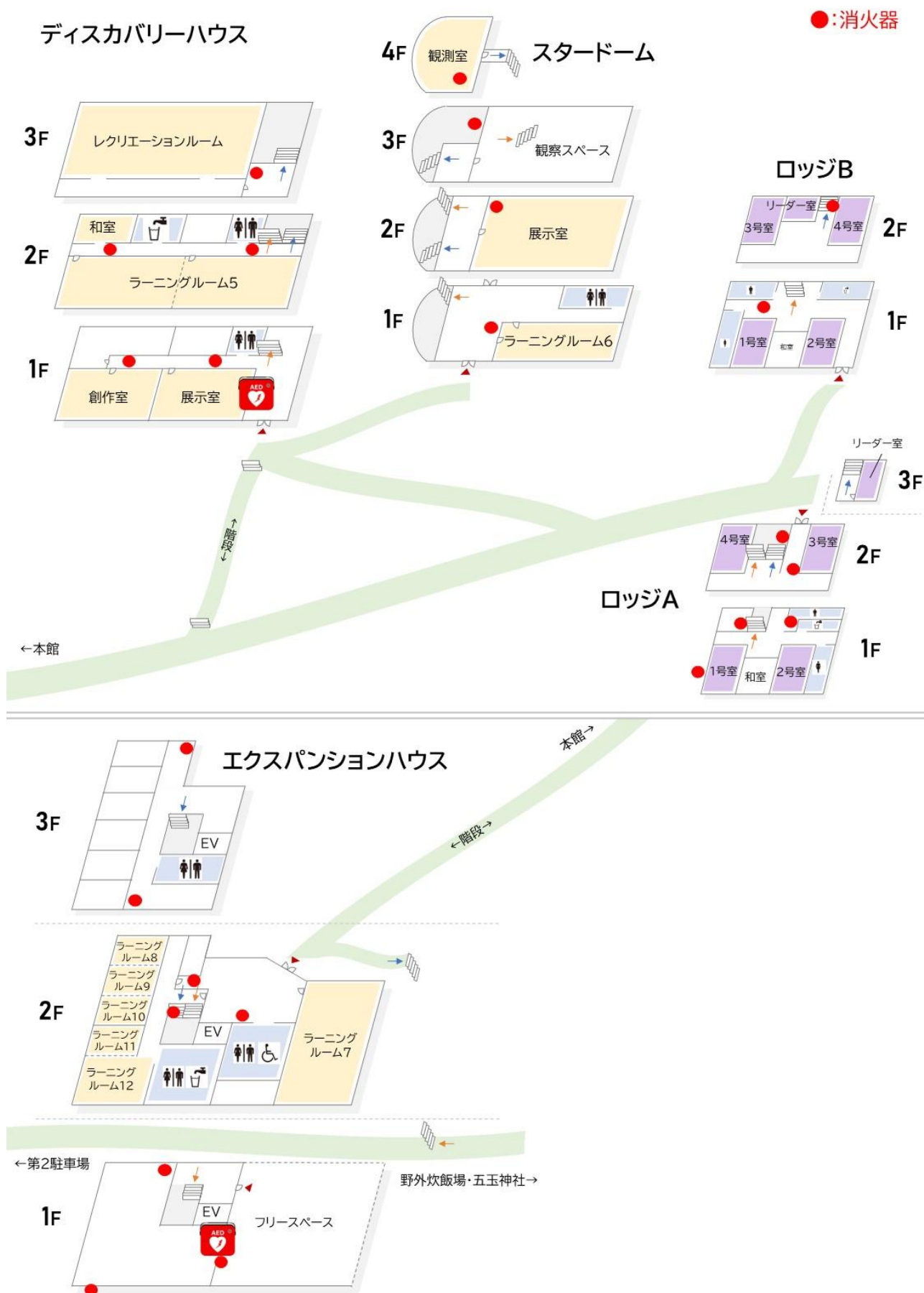
2F



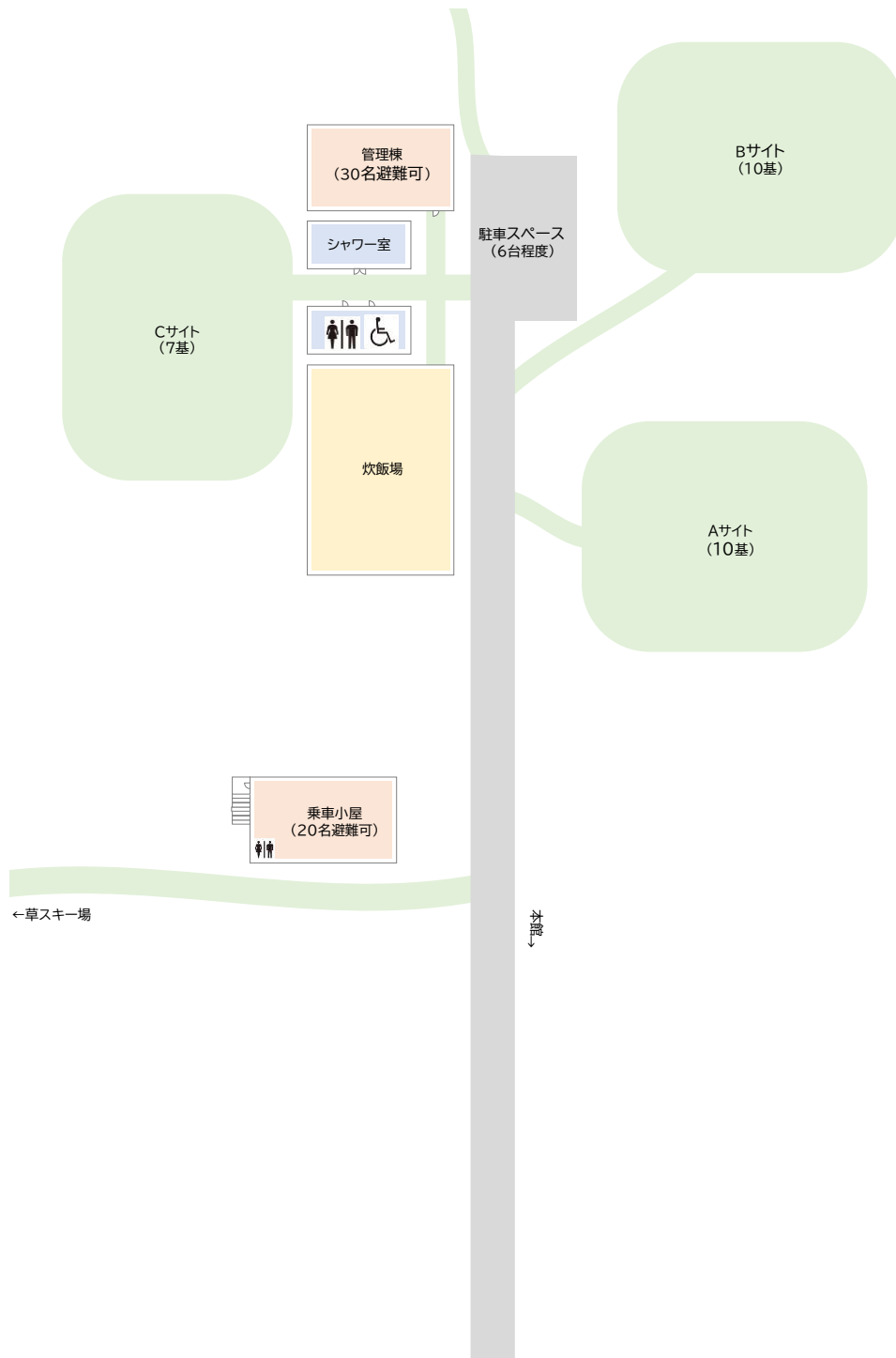
1F



1.2.2 別館配置図



1.2.3 キャンプ場



C サイトにテントを張った様子



左:トイレ 右:シャワー室

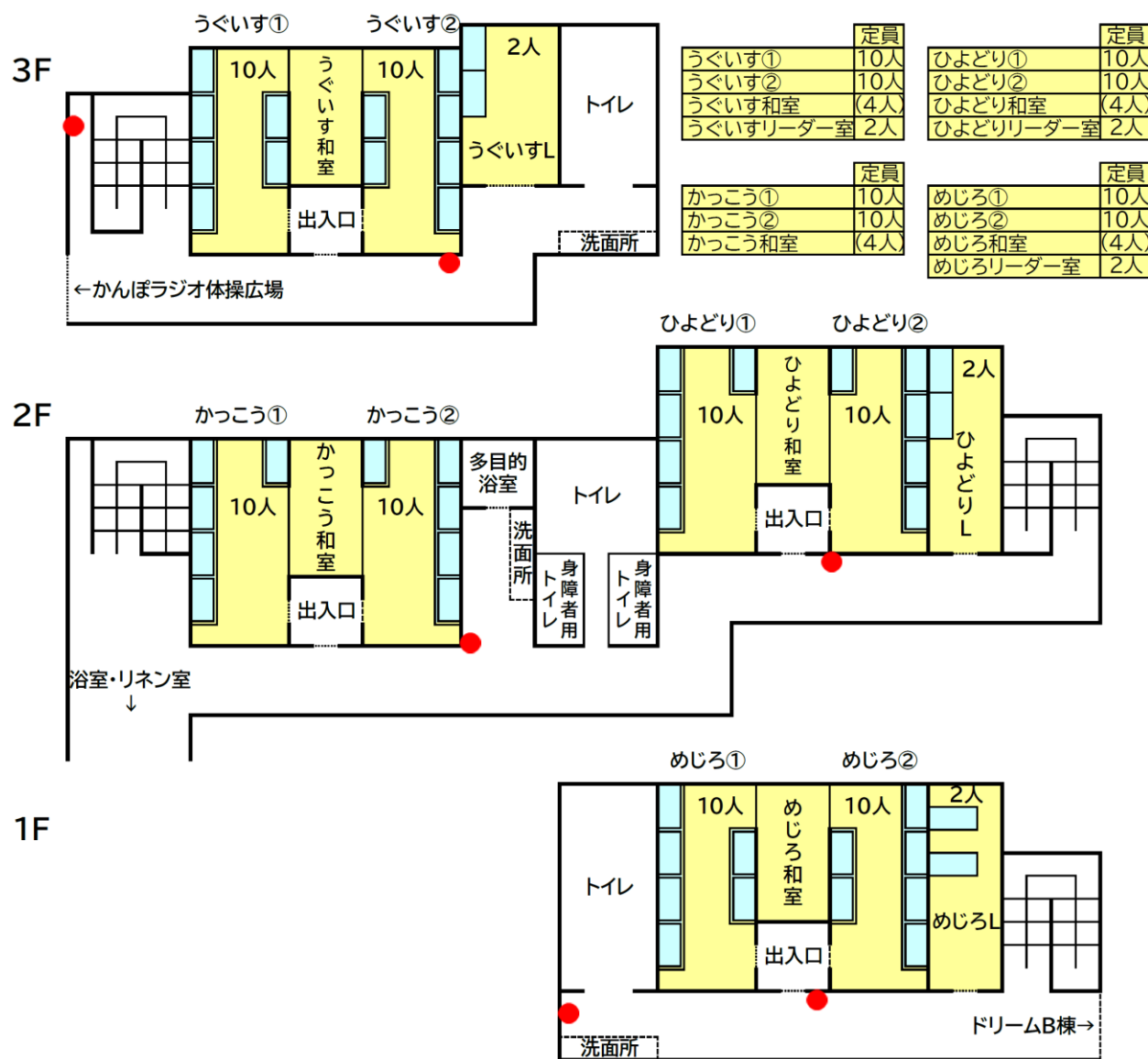


キャンプ場炊飯場

1.3 宿泊室見取り図

ドリームA

●:消火器



ドリーム A 棟宿泊室



ドリーム A 棟和室



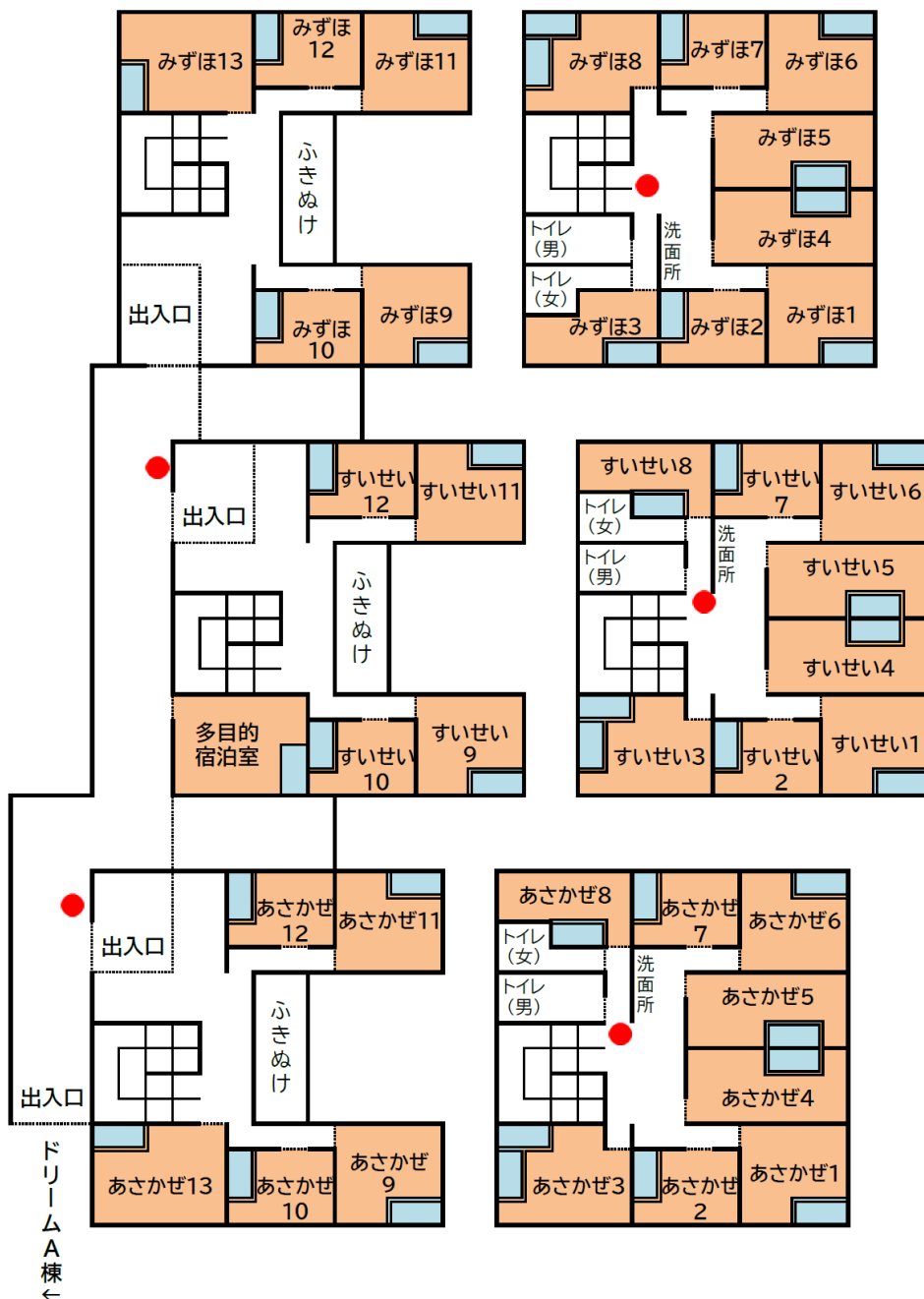
ドリーム A 棟リーダー室

ドリームB

●:消火器

1F

B1F



	2段 ベッド	定員
みずほ 1	2人	2人
みずほ 2	2人	2人
みずほ 3	2人	2人
みずほ 4	2人	2人
みずほ 5	2人	2人
みずほ 6	2人	2人
みずほ 7	2人	2人
みずほ 8	2人	2人
みずほ 9	2人	2人
みずほ 10	2人	2人
みずほ 11	2人	2人
みずほ 12	2人	2人
みずほ 13	2人	2人
合計	26人	

	2段 ベッド	定員
すいせい 1	2人	2人
すいせい 2	2人	2人
すいせい 3	4人	4人
すいせい 4	2人	2人
すいせい 5	2人	2人
すいせい 6	2人	2人
すいせい 7	2人	2人
すいせい 8	2人	2人
すいせい 9	2人	2人
すいせい 10	2人	2人
すいせい 11	2人	2人
すいせい 12	2人	2人
合計	26人	

多目的宿泊室	1人
--------	----

	2段 ベッド	合計
あさかせ 1	2人	2人
あさかせ 2	2人	2人
あさかせ 3	4人	4人
あさかせ 4	2人	2人
あさかせ 5	2人	2人
あさかせ 6	2人	2人
あさかせ 7	2人	2人
あさかせ 8	2人	2人
あさかせ 9	2人	2人
あさかせ 10	2人	2人
あさかせ 11	2人	2人
あさかせ 12	2人	2人
あさかせ 13	2人	2人
合計	28人	



ドリーム B 棟宿泊室

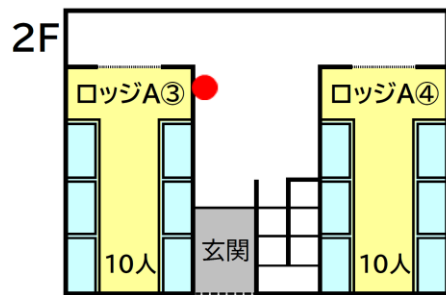
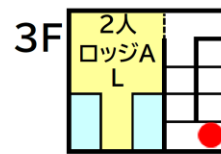
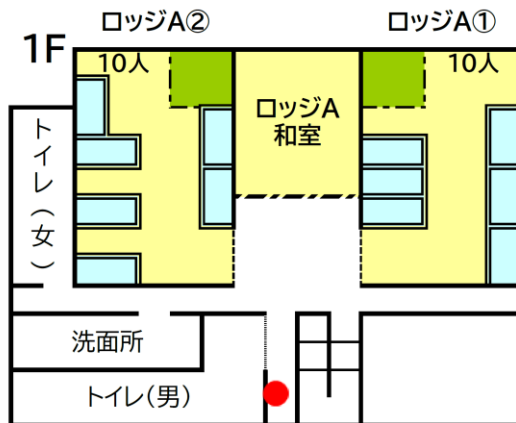


ドリーム B 棟多目的宿泊室



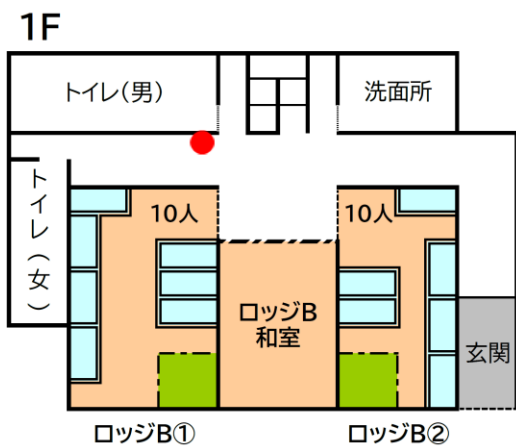
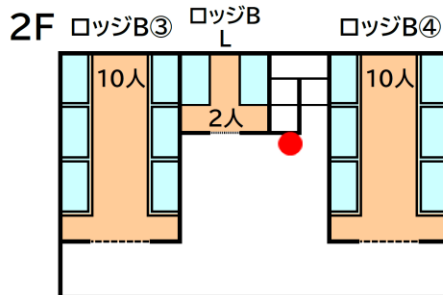
ドリーム B 棟各室ユニットバス

ロッジA



	定員
ロッジA①	10人
ロッジA②	10人
ロッジA③	10人
ロッジA④	10人
ロッジA和室	(4人)
ロッジAリーダー室	2人

ロッジB



	定員
ロッジB①	10人
ロッジB②	10人
ロッジB③	10人
ロッジB④	10人
ロッジB和室	(4人)
ロッジBリーダー室	2人

●:消火器



ロッジ A 宿泊室



ロッジ A 和室



ロッジ A リーダー室

2 施設での活動

2.1 活動の計画と安全

2.1.1 活動の計画

(1) 作成手順

①対象者・人数・日程を決める。

年齢や構成メンバーの関係により、ねらい(目的)も変わります。活動できる時間も確認してください。

②ねらい(目的)を明確にする。

活動を通して学んでほしいことや感じてほしいことを明確にしてください。活動そのものは手段です。

③ねらい(目的)に沿った活動を決める。

当施設の活動プログラムは 2.4 をご参照ください。団体独自の活動を実施することも可能です。

④研修施設や備品を確認する。

施設の収容人数や設備・備品などを確認してください。当施設で購入・貸出できる備品もあります。

⑤プログラムの試行・検証・修正を行う。

下見や実地踏査などで、代表者の方も体験すると、ねらい(目的)の達成やリスクマネジメントの視点がより明確になります。

(2) ねらい(目的)に沿った活動例

- ・仲間作りや協働 → 野外炊事、オリエンテーリング、夜須高原仲間づくりプログラム(YTC)など
- ・達成感や感動 → 登山、キャンプファイヤー、キャンドルファイヤーなど
- ・自然とのふれあい → 里地里山ウォークラリー、ナイトハイキング、川遊びなど
- ・思い出づくり → 各種創作活動など

(3) 留意点

・時間にゆとりのあるプログラムを計画してください。

午前・午後・夜の時間帯でそれぞれ1つの活動を目安に計画するのが適当です。

・体力的にハードなものと創作活動などのソフトなものを組み合わせることも効果的です。

(例:午前:オリエンテーリング 午後:すべすべ板の表札づくり 夜:キャンプファイヤー)

・野外活動は天候に左右されるので、雨天時(荒天)の代替プログラムを計画してください。

2.1.2 安全管理

体験活動は、常に危険と隣り合わせの状況で展開されます。

以下のチェックポイントに留意しながら、万全の安全対策のもと活動を展開してください。

(1) 安全管理上の留意点

①活動計画作成時

- ・対象者の経験や発達段階に応じたゆとりのあるプログラムか
- ・季節や時間を考慮した計画か
- ・実地踏査を行ったか
- ・指導者や引率者の役割分担が明確か
- ・指導者自身が、事故やけがが起こるポイントを理解しているか

②活動を始める前

- ・参加者の健康状態(検温等)をしっかりと把握したか ・装備や準備が万全か
- ・気象情報を確認したか ・緊急時の連絡手段を携帯しているか
- ・ファーストエイド(救急用品)を持参しているか
- ・危険な生物(マムシ、スズメバチ、マダニなど)などの知識を事前に確認し、指導を行ったか

③活動中

- ・参加者の体調や様子に目を配り、指導をしているか ・活動用具の使用方法に誤りはないか
- ・事故やけがが起きそうな場面で適切な指導や声掛けをしているか(頭上からの枯れ枝落下など)

④活動終了時

- ・参加者全員の安全確認を行ったか ・活動が終了したことを事務室に報告したか

(2) 安全基準

当施設では、安心安全な自然体験活動を提供するため、以下の基準で活動の中止をお願いすることがあります。

●自然環境に関する基準

ア)活動の実施に影響のある気象状況

- ・視界(目視で)10m以下 ・雷感知計器(サンダーメーター)レベル2以上

イ)警報・注意報等の発令の有無による判断基準

- ・警報:暴風、大雨警報(土砂災害、浸水害)、林野火災 ・注意報:雷、濃霧等

ウ)地理的条件や気象状況の変化による判断基準

- ・局地的な強風が吹いている場合 ・台風の接近や暴風が予想される場合
- ・濃霧が予想される場合 ・落雷が予想される場合

※川遊び・溪流遊び実施時は以下の基準も追加

- ・降水量3mm/時以上 ・気温15度以下 ・局地的な大雨の場合
- ・第3炊飯場付近の川で、第3炊飯場から向かい側の岸にある構造物に示した印より水位が多い場合

●活動方法に関する基準

- ・活動に必要な引率者の人数が足りない場合
- ・活動プログラムの計画内容と活動実施内容が乖離し、職員もしくは利用団体の状況把握が困難であると判断した場合

2.1.3 食物アレルギー対応

当施設の食堂業務はコンパスグループ・ジャパン株式会社に運営委託しています。食物アレルギー対応についても同社の定める方法で行いますので、以下をご確認いただきますようお願いいたします。

食堂では、食物アレルギーをお持ちの方についても、対応可能な範囲でお食事の提供をいたしますが、「安全性」を最優先とするため、下記の内容について、ご理解とご協力をお願いいたします。

(1) アレルギー対応に係る必要書類の提出について

ご提供するお食事に配慮が必要な場合は、「食物アレルギー事前確認表」をご利用日の3週間前までにご提出ください。

アレルギー対応については、「学校生活管理指導票」に基づいて、対応をいたします。

申請頂くアレルギー情報が、学校生活管理指導票の内容と一致しているか、ご確認の上、弊社指定の「食物アレルギー事前確認票」のご提出をお願いいたします。

(2) 食堂での対応について

「安全性」を最優先とするため、食堂では以下の内容で、お食事をご提供しております。

1) 食堂で使用しない食材について

食堂の食事では、以下のアレルゲンを含む食材を使用しません。

- ① 特定原材料のうち、「えび・かに・そば・落花生・くるみ」
- ② 特定原材料に準ずる品目のうち、「ごま」 ※ごま油は除く

2) コンタミネーションについて

厨房では調理器具・食器・洗浄機器、揚げ油など、全てのメニューにおいて共通のものを使用しており、アレルギー物質のコンタミネーションは避けられません。またバイキング形式の場合、提供レーンにて隣の料理が混入する場合がございます。

3) 対応方法について

食物アレルギーをお持ちの方については、ウェブサイトに掲載しております「アレルゲン表」をご確認の上、対応方法を以下からご選択頂き、団体様ごとに「食物アレルギー事前確認表」のご提出をお願いいたします。

- (A) 自己除去
- (B) 持ち込み対応
- (C) 代替食対応

- ・食堂では調理・提供時のコンタミネーションの可能性がございます。
- ごく微量の摂取にて、アナフィラキシーショック等、重篤な症状を起こす可能性のある方は、万が一の事態を考慮し、(B)の持ち込み対応を頂きますよう、お願いいたします。
- 上記の場合は、「食物アレルギー事前確認表」をご提出の上、事前にご相談ください。
- ・施設は自然の中に位置しており、緊急受診が必要な場合も、医療機関まで、あるいは救急車の到着までに、相応の時間を要します。
- ・学校給食と同様の設備・人員体制ではないため、給食と同様の対応を行うことは難しく、安全性を最優先とし、対応可能な範囲にてお食事のご提供をさせていただきます。

(A) 自己除去

- ・アレルゲン表をご確認頂き、対象者ご自身でお料理の選択をお願いいたします。
- ・食材の変更が生じる可能性がございます。必ず、最新のアレルゲン表をご確認ください。

(B) 持ち込み対応

- ・当食堂では、冷凍庫・冷蔵庫・電子レンジ等をご利用頂けます。
- ・食器についても、食堂のものをご利用頂けます。
- ご利用頂く備品、及び食器においては、洗浄・保管を含め、通常食、及び他のご利用者様と共用のため、コンタミネーションについては防ぐことができません。
- ・厨房での調理は、スタッフによる、冷凍・冷蔵庫保存、レンジ温めのための対応となります。
- 安全性確保のため、ご了承ください。
- ・お持ち込み品については、毎食ごと袋に入れ、【団体名・対象者のお名前・日付・朝・昼・夕】をマジックペンでご記入ください。
- ・お持ち込みの方法については、「当日持ち込み」のみのご利用となります。

・当日持ち込みの場合、入所受付時に、持ち込み品と食物アレルギー対応受け渡し確認表の提出をお願いします

※食物アレルギー対応受け渡し確認表の詳細は、個別にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

(C)代替食対応

・食堂では、特定原材料8品目(小麦・卵・乳・そば・落花生(ピーナッツ)・えび・かに・くるみ)を含まない「8大アレルゲン不使用メニュー」をご用意しております。

詳細は、個別にお問い合わせを頂きますよう、お願いいたします。

(3) 野外炊飯・弁当の対応について

野外炊飯、弁当については、ウェブサイト掲載のアレルゲン・原材料表をご確認の上、

(A)自己除去(通常メニューから選択)

(B)持ち込み対応

(C)代替食対応(弁当のみ)

のいずれでのご対応をお願いしております。

※野外炊飯において(A)・(B)の選択が難しい場合は個別にご相談ください。

(4) ご利用日までの流れについて

上記をお読み頂き、以下のご対応をお願いいたします。

食堂ご利用日3週間前までに

・「食物アレルギー対応について」(本項 1～3)

・アレルゲン表(食堂・弁当・野外炊飯)

上記内容をご確認のうえ、対応方法をご選択いただき「食物アレルギー事前確認表」を提出する。

↓

利用当日

(A)自己除去の場合

当日は、アレルゲン表示をご確認の上、ご自身でお料理の選択をお願いいたします。

(B)持ち込み

持ち込み方法・持ち込み品を食堂にてお預かりいたします。

お食事の際は、食堂受け渡し口より、お預かりした食品をお渡しいたします。

(C)代替食

当日は、食堂受け渡し口にて、代替食メニューをお渡しいたします。

必ず、食堂のアレルギー対応食受け渡し口までお越し頂き、スタッフまでお声がけください。

アレルギー対応に関する問い合わせ先

コンパスグループ・ジャパン株式会社 夜須高原店

TEL:0946-42-5992

メールアドレス:35512@compass-jpn.com

2.1.4 近隣医療機関等所在地

(1) 医療機関

主な診療科	医療機関名	急患	小児	住所	電話番号	時間(分)
総合	飯塚病院	○	○	福岡県飯塚市 芳雄町 3-83	0948 -22-3800	40
総合	飯塚市立病院	-	○	福岡県飯塚市 弁分 633-1	0948 -22-2980	35
総合	済生会 飯塚嘉穂病院	-	-	福岡県飯塚市 太郎丸 265	0948 -22-3740	30
総合	福岡大学筑紫病院	○	○	福岡県筑紫野市 俗明院 1-1-1	092 -921-1011	35
小児科	中嶋医院	○	○	福岡県太宰府市 幸府 3-5-7	092 -922-4019	35
整形外科 内科	藤井整形外科内科医院	-	-	福岡県朝倉郡筑前町 二 136-1	092 -926-1417	30
耳鼻咽喉科	富田耳鼻咽喉科医院	-	-	福岡県朝倉市 甘木 1971-2	0946 -22-2415	30
整形外科 内科 外科 脳神経外科	甘木中央病院	○	-	福岡県朝倉市 甘木 667	0946 -22-5550	35
総合	朝倉医師会病院	○	○	福岡県朝倉市 来春 422-1	0946 -23-0077	35
歯科	中村歯科	-	○	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 355-2	0946 -42-4676	25
歯科	松原歯科	-	○	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 191-2	0946 -42-5532	25
整形外科	しのくま整形外科 クリニック	-	-	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 141-1	0946 -42-6021	20
小児科	ふくまこどもクリニック	-	○	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 141-5	0946 -42-8055	20
内科 循環器科	ながた内科・循環器 クリニック	-	-	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 139-1	0946 -42-8600	20

※地域医療支援病院等に指定されている場合、紹介状が無い場合に「特定療養費」が発生する可能性があります。事前に確認をお願いします。

(2) 各種相談・短縮ダイヤル

名称	備考
小児救急医療電話相談 #8000	※ 子どもの救急相談窓口 092-661-0771 (福岡地域)
救急医療電話相談 #7119 → 2	※ 一般の成人や子どもの救急相談も可能 092-471-0099 → 2
医療機関の案内 #7119 → 1	※ 休日・夜間に受診可能な最寄りの医療機関などの案内窓口 092-471-0099 → 1

(3) 公共機関

名称	住所	電話番号
筑前町役場	福岡県朝倉郡筑前町篠隈373	0946-42-3111
朝倉警察署 夜須交番	福岡県朝倉郡筑前町東小田1681	0946-42-2110
甘木・朝倉消防署西部分署	福岡県朝倉郡筑前町下高場3599-3	0946-42-4711

2.2 活動・生活に必要な持ち物

以下に記載しているものは、施設での活動や生活に際して最低限必要となる持ち物です。団体または個人において個別に必要となるものは、各団体において検討・準備してください。

活動プログラム実施の際には、施設で貸し出すことができるものと団体・個人が持参しなくてはならないものがあります。個別の活動プログラム資料をご確認ください。

(1) 主に活動中に必要となるもの

用具	準備する人
☐ 救急用品	団体
☐ 活動プログラム実施に必要な用具	団体または個人
☐ 雨具	個人
☐ 懐中電灯	個人
☐ 体育館用シューズ(プレイホール利用時)	個人

(2) 主に生活場面で必要となるもの

用具	準備する人
☐ 洗面用具(歯ブラシ、フェイスタオル等)	団体
☐ 入浴用具(シャンプー、ボディソープ、バスタオル等)	個人
☐ 衛生用品(ティッシュ、ゴミ袋等)	個人

2.3 貸出可能な用具

事務室			教材室		
ポータブルアンプ(マイク2本付)	3	台	カッターマット(大)	85	個
プレイホール用マイク	1	本	カッターマット(小)	147	個
CDラジカセ	2	台	グルーガン ※芯は持参ください	23	個
プロジェクタ(HDMI ケーブル付)	2	台	コテ	8	個
ドラムコード	8	台	一穴パンチ	23	個
延長コード	8	本	竹ピンセット	11	個
ホワイトボードマーカーセット (黒・赤・青・緑・イレイサー)	10	組	トースター ※プラホビー用	5	台
チョークセット	7	組	ラジオペンチ	20	個
黒板消し	5	個	30cm ものさし	57	個
クリップボード	200	個	プラホビー用下絵	2	個
オリエンテーリングコンパス	199	個	キャンドルのつどい用トーチ (1団体 2 本まで)	10	本
サンダーメーター	1	個	カッター	139	個
キャンプファイヤー用 CD	10	枚	はさみ	123	個
ビブス(6色・各30枚)	180	枚	竹引きのこ	6	本
バケツ	3	個	切り出しナイフ(右)	137	個
卓球ラケット	8	本	切り出しナイフ(左)	19	個
卓球ボール(ピンポン玉)	6	個	きり	131	本
卓球ネット	2	組	なた	38	本
バドミントンラケット	9	本	星座早見表	105	個
バドミントンシャトル	10	個			

スポーツ用具庫		
綱引き用綱	2	巻
大縄	22	本
キンボール	2	個
ユニカール	2	組
ビーンボウリング	2	組
シャッフルボード	4	組
インディアカ	20	個
サッカーゴール	1	組
ペタンク	10	組
グラウンド・ゴルフ	3	組
スポーツ雪合戦	1	組
ピロピロ	1	組
アジャタ用ボール(赤・白)	1	組
ポッチャ	14	組
モルック	6	組
カラーコーン(桃)	9	個
カラーコーン(青)	11	個
カラーコーン(黄)	10	個
カラーコーン(赤)	2	個
ミニコーン	11	個
プレイホール		
バレーボール支柱(2本組)	2	組
バドミントン支柱(2本組)	6	組
アジャタゴール(2本組)	1	組
各種ボール	20	個
得点版	1	台
エクспанションハウス倉庫		
シュラフ(赤)	47	個
シュラフ(青緑)	65	個
シュラフカバー	60	個
2～3人用テント(mont-bell)	12	個
4～6人用テント(Coleman)	12	個
4～6人用テント(snow peak)	5	個
8～10人用テント(Coleman)	2	個
グランドシート	44	枚
銀マット	100	枚
ハンマー	10	本
ペグセット(14本組)	40	組
電池式ランタン(Led:5、V8:12)	17	個
焚火台(sp:7、ヘックス:9)	16	台
ダッチオーブン	14	個
ライフジャケット(小)	40	個
ライフジャケット(大)	20	個
ピザピール	14	個
ピザカッター	32	個
ピザ板	25	枚
ピザ用皿(銀の丸トレイ)	65	枚
計量カップ(500mL)	68	個
レーザー温度計	2	個

BBQ コンロ(高:7、低:8)	15	台
焼き網	22	枚
トング(長:36、短:9)	45	個
鉄フライパン(大:22、小:35)	57	個
ワイヤーブラシ(内たわし:87)	207	個
ラジオペンチ	15	個
きり	22	本
のこぎり	27	本
のこぎり台(2個組)	33	組

掃除用具倉庫

電子キーボード	1	台
カプラ	2	個
杵	5	個
臼	5	個

第2・4・5炊飯場

食器・調理器具セット (なべ・ライスクッカー・ざる・ボウル・しゃもじ・ おたま・水切りかご各1、カッティングシート2、 大皿・小皿・おわん・カップ・スプーン各6)	16	組
包丁・たわしセット	16	組
なた・なた台	16	組
ピザがま用鉄板・耐熱レンガ	8	組

第3炊飯場

食器・調理器具セット (なべ・ライスクッカー・ざる・ボウル・しゃもじ・ おたま・水切りかご各1、カッティングシート2、 大皿・小皿・おわん・カップ・スプーン各6)	18	組
包丁・たわしセット	18	組
なた・なた台	18	組
ピザがま用鉄板・耐熱レンガ	8	組

第1キャンプ場・炊飯場

食器・調理器具セット (なべ・ライスクッカー・ざる・ボウル・しゃもじ・ おたま・水切りかご各1、カッティングシート2、 大皿・小皿・おわん・カップ・スプーン各6)	12	組
包丁・たわしセット	12	組
なた・なた台	12	組

乗車小屋

草スキー用そり	55	台
ヘルメット(小)	48	個
ヘルメット(大)	77	個
肘あて(小)	29	個
肘あて(大)	72	個
膝あて(小)	51	個
膝あて(大)	201	個

その他

キャンドルのつどい用燭台・防災シート (プレイホール、L3、L4、L5、L7に各1)	5	組
---	---	---

※用具の品目・数量は変動する可能性があります。
※原則、施設内での使用のための貸出に限ります。

2.4 活動プログラム

活動名		屋外	屋内	指導方法	最大人数	所要時間
夜須高原仲間づくりプログラム(YTC)		○	○	直接	40 人	3 時間
野外活動	登山・ハイキング	○		間接	—	1～6 時間
	スコアオリエンテーリング	○		説明	300 人	2～4 時間
	ポイントオリエンテーリング	○		説明	150 人	2～4 時間
	ウォークラリー	○		説明	150 人	1～4 時間
	フィールドビンゴ	○		説明	150 人	1～4 時間
	夜須アドベンチャーウォーク	○		説明	150 人	3～4 時間
	五玉(いつたま)神社の謎を解け！	○		説明	150 人	2～3時間
	里地里山ウォークラリー	○		説明	150 人	2 時間
	ひるもりビンゴ	○		間接	150 人	30 分～1 時間
	館内ウォークラリー		○	説明	150 人	1 時間
	館内ビンゴ		○	説明	150 人	1 時間 30 分
	溪流遊び	○		自主	60 人	1～2時間
	自然観察	○		自主	—	1～3時間
レク系	ニュースポーツ		○	自主	種目による	1～3時間
	草スキー	○		説明	50 人	1～2時間
	川遊び	○		自主	60 人	1～2時間
作って楽しむ	野外炊飯	○	○	説明	300 人	4～5時間
	焼き板の表札	○	○	間接	制限なし	1～2時間
	すべすべ板の表札	○	○	間接	制限なし	1～2時間
	すべすべコースター	○	○	説明	200 人	2 時間
	プラホビー	○	○	自主	制限なし	2 時間
	竹とんぼ	○	○	自主	制限なし	3 時間
	杉皿アート	○	○	自主	制限なし	30 分～1 時間
夜の活動	キャンプファイヤー	○		自主	200 人	1～3時間
	キャンドルのつどい		○	自主	300 人	1～3時間
	ナイトハイキング	○		自主	—	1～2時間
	天体観察	○		直接	40 人	1 時間
	星空観察	○		自主	150人	1～2時間
	テント泊	○		説明/自主	108人	—

※指導方法の区分

- (1)直接・・・自然の家職員が活動のはじめから終わりまで参加者に直接指導します。
- (2)説明・・・自然の家職員が活動開始時に活動方法を参加者に直接説明します。
- (3)間接・・・自然の家は活動の進め方の資料等を提供します。活動の進行は団体引率者が行います。
- (4)自主・・・活動は団体のみで行います。用具は自然の家が貸し出すことができるものもあります。

3 利用料金

※料金はすべて消費税込み価格です

3.1 施設使用にかかる料金

3.1.1 施設使用料(宿泊利用の場合)

対象	本館(1人1泊)	キャンプ場(1人1泊)
年少未満	無料	無料
年少～年長	300円	300円
小学生～高校生	600円	300円
18歳以上の大人 (大学・短大等の学生)	1,200円	600円
18歳以上の大人 (学生を除く)	2,500円	1,200円

※ 故意による寝具等の破損・汚損は、別途請求します。

※ 団体種別により、施設使用料の減免が受けられる場合があります。詳細は 6.4 をご参照いただくか、お問合せください。

3.1.2 特別宿泊室使用料

施設名	対象	金額	備考
ドリーム B 棟	すべての利用者	1利用期間 1,200円	
講師室 (ゲストルーム)	団体引率責任者及び 団代が招聘した講師 等	1利用期間 1,220円	団体帯同のカメラマン、バスの運転手が利用する場合も含む。原則として、1団体当たり1部屋までとします。

※ 別途施設使用料がかかります。

3.1.3 研修施設使用料(日帰り利用の場合)

施設・活動名	利用単位	金額	備考
ラーニングルーム(1～12) 展示室・レクリエーション室	1室・1単位時間あたり	300円	<単位時間> 午前(9:00～12:00) 午後(13:00～16:00) 夜間(18:00～21:00)
プレイホール(半面)		300円	
プレイホール(全面)		600円	
多目的コート (テニスコート)	1単位時間あたり	200円	※夜間利用は当日宿泊団体がある場合に限りません。また、夜間のみのご利用はできません。 ※多目的コートは夜間利用できません。
野外活動施設	1人・1日あたり	100円	野外炊飯やフィールド活動実施の際に適用

3.2 活動にかかる料金

3.2.1 特定研修活動指導料

活動名	実施単位	金額	備考
夜須高原仲間づくりプログラム (YTC)	1班(20人以内)・ 1コマ(3時間)あたり	6,000 円	午前(9:30~12:30) 午後(13:30~16:30) の時間枠で実施。 同時に2班まで実施可能。

3.2.2 教材費

(1) 創作活動

教材名	単位	内容	金額
焼板セット	1セット	焼いた杉板(約 10cm×20cm)、ヒートン 2個、ひも(約 15cm)、紙やすり	450 円
すべすべ板セット	1セット	1人分:生の杉板(約 10cm×20cm)、 ヒートン2個、ひも(約 15cm)、紙やすり	220 円
すべすべコースター用丸太	1本 (約12人分)	丸太(直径約 10cm×長さ約 1m)	450 円
紙やすり(120 番)	1 枚	23cm×28cm ※すべすべコースター用の場合、1枚4~6人分	44 円
紙やすり(240 番)	1 枚	23cm×28cm ※すべすべコースター用の場合、1枚4~6 人分	44 円
杉皿	1枚	杉皿(直径約 21cm)	90 円
プラ板	1枚 (約6人分)	プラ板(B4)	250 円
キーホルダー	1個	スイベル金具付キーホルダー	70 円
竹とんぼセット	1セット	竹材、竹ひご、説明書	300 円
カラーペイント	1本	6色あり(赤・青・黄・白・緑・ピンク) ※表札・コースターにおすすめ	300 円
カラーペイントセット	1セット (2~4人分)	カラーペイント6色セット	1,800 円
マジックペン	1本	6色あり(赤・青・緑・紫・オレンジ・黒) ※プラホビーにおすすめ	140 円

※荒天時のプログラムとして計画していた場合は、創作活動を実施しなかった際も教材のキャンセル料は発生しません。

※教材を持ち帰ることも可能です。事前学習等で購入していただくことも可能です。

(2) キャンプファイヤー

教材名	内容	金額
キャンプファイヤーセット	丸太12本、まき4束	7,080円
キャンプファイヤーハーフセット	丸太6本、まき2束	3,540円
灯油(1ℓ)	—	160円
灯油(0.5ℓ)	—	80円

※丸太1本(450円)、まき1束(420円)の単位で、増減調整ができます。

※セットに灯油、トーチは付属しません。

※焚火台を使用する場合、まき 2 束から活動できます。

3.3 食事にかかる料金

3.3.1 レストラン食(バイキング形式)

対象	朝食	昼食	夕食	(3食の合計)
未就学児(3歳以上)	420円	520円	670円	1,610円
小学生	560円	700円	800円	2,060円
中学生以上	640円	810円	920円	2,370円

※3歳未満は無料です。

※幼児・アレルギー等については、レストラン売店まで事前にご相談ください。

※同時時間帯の食事が全団体合計で20食未満の場合は、提供方式が盛り付け食に変更となります。

3.3.2 弁当・補食類

(1) 弁当

メニュー	内容	金額
おにぎり 2 個弁当	おにぎり(おかか・鮭)、唐揚げ、肉コロッケ、ミートボール、出し巻き、赤スパ、醤油	540円
おにぎり 3 個弁当	おにぎり(ごま・たらこふりかけ・おかか)、肉団子、肉コロッケ、出し巻き、赤スパ、ポテトサラダ、ひじき煮、醤油	630円
幕の内弁当 A	白飯(ごま)、唐揚げ、ウィンナー、出し巻き、ミニしゅうまい、赤スパ、金平ごぼう、つぼ漬け、醤油	630円
幕の内弁当 B	白飯(ごま)、白身フライ、ミートボール(あんかけ)、出し巻き、赤スパ、ひじき煮、つぼ漬け、醤油	630円
チキン南蛮弁当	白飯(ごま)、チキン南蛮、白身魚フライ、出し巻き、金平ごぼう、ポテトサラダ、つぼ漬け、醤油	670円

※弁当は1種類につき5個以上から注文を受け付けます。



おにぎり2個弁当



おにぎり3個弁当



幕の内弁当 A



幕の内弁当 B



チキン南蛮弁当

(2) おにぎり単品

メニュー	金額
梅おにぎり	150 円
昆布おにぎり	150 円
ツナマヨおにぎり	160 円



※おにぎりは1種類につき10個以上から注文を受け付けます。

(3) 飲料

メニュー	仕様	金額
緑茶	200mL 紙パック	130 円
アクエリアス	500mL ペットボトル	200 円
(弁当とセットの場合)		190 円

※その他(ジュース類、スイカ、アイスクリーム、菓子類、菓子パン等)の注文については、売店までご相談ください。

3.3.3 野外炊飯

(1) 食材セット

メニュー	単位	金額	ハーフセット金額
味噌汁セット	6人分	2,400 円	1,200 円
焼きそばセット	6人分	3,300 円	1,650 円
ビーフカレーセット	6人分	3,420 円	1,710 円
ピザセット(イタリアン/ツナ)	6人分	3,480 円	1,740 円
豚汁セット	6人分	4,320 円	2,160 円
水炊き鍋セット	6人分	4,620 円	2,310 円
バーベキューA セット	6人分	6,120 円	3,060 円
バーベキューA セット(炊飯提供)	6人分	6,540 円	3,480 円
バーベキューB セット	6人分	10,920 円	5,460 円
バーベキューB セット(炊飯提供)	6人分	11,340 円	5,880 円
ホットドッグセット	1人分	450 円	-

※ハーフセットは量が半分になります。

(2) 野外炊飯用の消耗品 : 持込みも可能です

教材名	単位	量の目安	金額
まき	1束	1 班(6人)分	420 円
バーベキュー用炭	3kg	1 班(6人)分	650 円
食器用洗剤	1本	4 班(24人)分	150 円
クレンザー	1本	4 班(24人)分	240 円

※ピザを調理する際のまきの量は、1班につき 1.5 束が目安となります。

(野外炊飯メニュー1セット6人分の内容)

メニュー		内容
味噌汁セット		米(750g)、たまねぎ(1個)、じゃがいも(1個)、乾燥わかめ(5g)、だしの素(12g)、味噌(120g)、塩マス切り身(6切)、油(適量)、味のり(6パック)、梅干し(12個)
焼きそばセット		焼そば麺(1kg)、豚肉(300g)、もやし(1袋)、にんじん(1本)、たまねぎ(1個)、ピーマン(2個)、キャベツ(1/4玉)、粉末ソース(1袋)、油(適量)、味付け塩コショウ(適量)、アップルジュース(200ml×6本)
ビーフカレーセット		米(750g)、カレールー(1箱)、たまねぎ(2個)、にんじん(1本)、じゃがいも(2個)、牛肉(300g)、福神漬(60g)、油(適量)(希望時のみ)
ピザセット	共通	小麦粉(1kg)、ベーキングパウダー(20g)、砂糖(40g)、塩(20g)、ミックスチーズ(240g)、ピザソース(1本)、油(適量)、アップルジュース(200ml×6本)
	イタリアン	トマト(2個)、たまねぎ(1個)、豚ウインナー(12本)、ピーマン(2個)
	ツナ	ツナ缶(2缶)、コーン(200g)、たまねぎ(1個)、ピーマン(2個)
豚汁セット		米(750g)、豚肉(360g)、さつまいも(1本)、にんじん(1本)、長ネギ(0.5本)、大根(1/4本)、ごぼう(0.5本)、しいたけ(3個)、こんにゃく(1枚)、厚揚げ(1枚)、味噌(150g)、だしの素(18g)、油(適量)
水炊き鍋セット		米(750g)、白菜(1/4個)、しいたけ(6本)、長ネギ(1本)、にんじん(1本)、焼き豆腐(1丁)、春菊(1束)、えのき(1袋)、マロニー(1袋)、鶏肉団子(12個)、鶏肉のブツ切り(720g)、ポン酢(1本)、だしの素(18g)
バーベキューA セット		米(750g)、牛カルビ(780g)、豚ロース(900g)、鶏もも(300g)、ウインナー(6本)、かぼちゃ(1/4玉)、ピーマン(3個)、タマネギ(1個)、キャベツ(1/4玉)、タレ(1本)、味付け塩コショウ(適量)
バーベキューA セット(炊飯提供)		
バーベキューB セット		米(750g)、牛上カルビ(950g)、豚ロース(1.4kg)、鶏もも(500g)ウインナー(12本)、かぼちゃ(1/4玉)、ピーマン(3個)、タマネギ(1個)、キャベツ(1/4玉)、タレ(1本)、味付け塩コショウ(適量)
バーベキューB セット(炊飯提供)		
ホットドッグセット(※1人分)		背割りパン(1本)、豚・鶏合挽フランクフルトソーセージ(1本)、ケチャップ・マスタードパック(1個)、バナナ(1本)、牛乳(200mL・1パック)

※ハーフセットは量が半分になります。

※すべてのメニューにゴミ袋が付属します。

※ホットドッグセットは1人分の内容になります。

3.4 支払い方法

区分	請求書発行者 (発行場所)	支払い方法	
		当日支払い	後日支払い
●3.1 施設使用にかかる料金 ●3.2.1 特定研修活動指導料	国立夜須高原 青少年自然の 家(事務室)	●現金【売店窓口】	●銀行振込 【三菱 UFJ 銀行】 ●コンビニ払い/電子決済 【コンビニ各店】または【各種払 込票対応電子決済サービス】
●3.2.2 教材費 ●3.3 食事にかかる料金	コンパスグルー プ・ジャパン株 式会社(売店)		●銀行振込 【三井住友銀行】

請求書発行に関する補足事項

- (1)利用当日の請求書発行・精算手続きの流れは、4.3.3 をご参照ください。
- (2)請求書は分割して発行することも可能です(例:学校の児童と教員を別の請求書にしたい)。
会計担当者に事前に確認し、利用当日までに**請求書発行内容・支払い方法を決めておいてください**。
- (3)後日支払いの場合、①**支払期限は請求書発行より30日後**です。②振込手数料は利用者負担となります。③原則として領収書の発行は行いません。金融機関の振込明細書等を支払証憑としてご利用ください。
- (4)日帰り利用の際の施設使用料・特定研修活動指導料の支払いは、売店が営業していない日の場合、後日支払いのみの対応となります。

3.5 キャンセルポリシー

食事注文に関して、最終期限を過ぎたキャンセルまたは食数減少の場合は、下記の通り**キャンセル料**を徴収いたします。

メニュー	変更・キャンセルの期日	キャンセル料
レストラン食 野外炊飯	利用初日の3日前15時まで 【最終期限】	0%
	利用初日の3日前15時以降～2日前15時まで	50%
	利用初日の2日前15時以降～当日まで	100%
弁当・補食類	利用初日の7日前15時まで 【最終期限】	0%
	利用初日の7日前15時以降～当日まで	100%

※「レストラン食・野外炊飯」は、各食あたり20食以上の数量減がキャンセル料徴収の対象です。

※「弁当・補食類」は、各食あたり1食の数量減からキャンセル料徴収の対象です。

※最終期限を過ぎてからの「利用日程の短縮(2泊→1泊等)」や「別期日への日程変更」に伴うキャンセル・食数減少についても、キャンセル料徴収の対象です。

※天災等、利用者に責任のない不可抗力によるキャンセルはキャンセル料徴収の対象外です。

4 利用手続き

4.1 利用にあたって

当施設は、青少年の自然体験活動や生活体験活動等とおして青少年の健全育成や青少年教育の振興を図ることを目的に設置された国立青少年教育施設です。

利用に際しては、「独立行政法人国立青少年教育振興機構利用規則」及び「国立夜須高原青少年自然の家利用細則」に定められた事項を守るとともに、公共マナーの順守や設備・備品等の丁寧な取り扱いをお願いします。

「利用規則」及び「利用細則」の概要

(1) 利用できる方

以下の要件を満たす団体が利用できます。青少年や青少年教育指導者等の団体だけでなく、一般の団体も利用することができます。

- ① 成人又は青年の引率責任者が定められている。
- ② あらかじめ具体的な研修計画を定めているもの。

(2) 利用における禁止事項

当施設において、次の行為を行うことは禁止されています。

- ① 特定の政党を支持・反対するための政治教育その他の政治的活動。
- ② 特定の宗教を支持・反対するための宗教教育その他の宗教的活動。
- ③ その他、施設の設置目的に反する活動や他の団体の活動への妨げになる活動、法令 違反、公序良俗に反する活動、施設のイメージを損なうおそれのある活動。

(3) 施設における活動

- ① 利用者は、当施設の設置目的(青少年の健全育成及び青少年教育の振興)に沿った活動を行うようにしてください。
- ② 当施設が定める標準生活時間に沿って活動を計画してください。標準生活時間には、朝のつどい及び夕べのつどい、国旗及び所旗の掲揚・降納が含まれます。
- ③ 当施設の職員は、施設における活動に関して、指導及び助言を行うことがあります。また、同日程で利用する他の団体の活動計画を踏まえながら、活動場所の調整を行います。

(4) 利用者の受入れを行わない日

- ① 年末年始の期間(12月28日から1月4日まで)。
- ② 施設設備等整備の日。
- ③ 天災その他やむを得ない事情による臨時休館日。
- ④ その他所長が定める休館日。 ※休館日はホームページよりご確認ください。

4.2 利用申込み手続き

4.2.1 手続きの流れ

(1)WEB フォーム入力 (空室情報)<https://shinriyou.niye.go.jp/yasu/Vacancy/Index/>

- ・当施設ホームページから空室情報を確認のうえ、利用申込みフォームに必要事項を入力して送信してください。
- ・利用時期や利用区分によって申込み受付期間が異なります。(→4.2.2 参照)
- ・空室情報等の詳細確認が必要な際は、電話またはメールでお問い合わせください。



(1)' 自然の家から WEB 受付完了メール送信

- ・当施設で入力内容を確認した後、申込み受付が完了したことを知らせるメールを送信します。
- ・フォーム送信から1週間を過ぎてもメールが届かない場合は、メールアドレスに誤りがある可能性があります。お手数ですが電話またはメールでお問い合わせください。

(2)利用申込書類提出 (書式ダウンロード) <https://yasu.niye.go.jp/download/>

【利用初日の2か月前まで】

①活動日程表

②食数表

- ・人数が確定していない場合も、後日変更ができるため(→4.2.4 参照)、期限までにご提出ください。提出期限を過ぎた場合は他団体の活動を優先的に調整します。
- ・FAX の文字が判読できないことがあります。メールでの提出にご協力ください。



(2)' 自然の家による利用内容調整

- ・提出書類をもとに、宿泊・活動場所や食事・入浴時間の割当てを行います。
- ・**同日程で利用する他の団体の活動計画を踏まえながら利用内容の調整を行うため、希望に添えない場合があります。**
その際は担当者が相談のために連絡しますので、調整にご協力ください。
- ・利用初日の1か月前に、確定した利用内容の通知を行います。

(3)その他の利用申込書類提出

【利用初日の3週間前まで】

③食物アレルギー事前確認票 (該当者がいる場合)

- ・提出後、アレルギーに関する確認のためにレストランから連絡する場合があります。

【利用初日の1週間前まで】

④施設使用料金に係る一部免除申請書 (該当する場合)

⑤野外炊飯実施計画書 (実施する場合)

【利用初日の当日まで】

⑥宿泊利用者等名簿

4.2.2 申込み期間

利用年度※ ¹	区分	宿泊利用		日帰り利用	
		先行予約	通常予約	学校等※ ²	左記以外
令和8年度	受付開始	実施済み	令和7年10月1日	令和7年10月1日	入所日の1か月前
	受付終了		入所日の1か月前	入所日の1週間前	入所日の1週間前
令和9年度	受付開始	実施済み	令和8年10月5日	令和8年10月5日	入所日の1か月前
	受付終了		入所日の1か月前	入所日の1週間前	入所日の1週間前

※1:一年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

※2:「学校等」には学校教育法第1条で定めるもののほか、保育所及び認定こども園を含む。

4.2.3 書類提出期限後の利用申込み

4.2.1(2)の期限(利用初日の2か月前)を過ぎて利用申込み(WEB フォーム入力)を行った場合、「活動日程表」及び「食数表」の書類提出期限は下表のようになります。ただし、利用内容の調整は期限までに提出があった団体を優先します。

提出書類	書類提出期限	
	宿泊利用	日帰り利用
①活動日程表 ②食数表	受付日の1週間後。	受付日の1週間後。 ただし、その期限が入所1週間前を過ぎる場合は、入所1週間前。

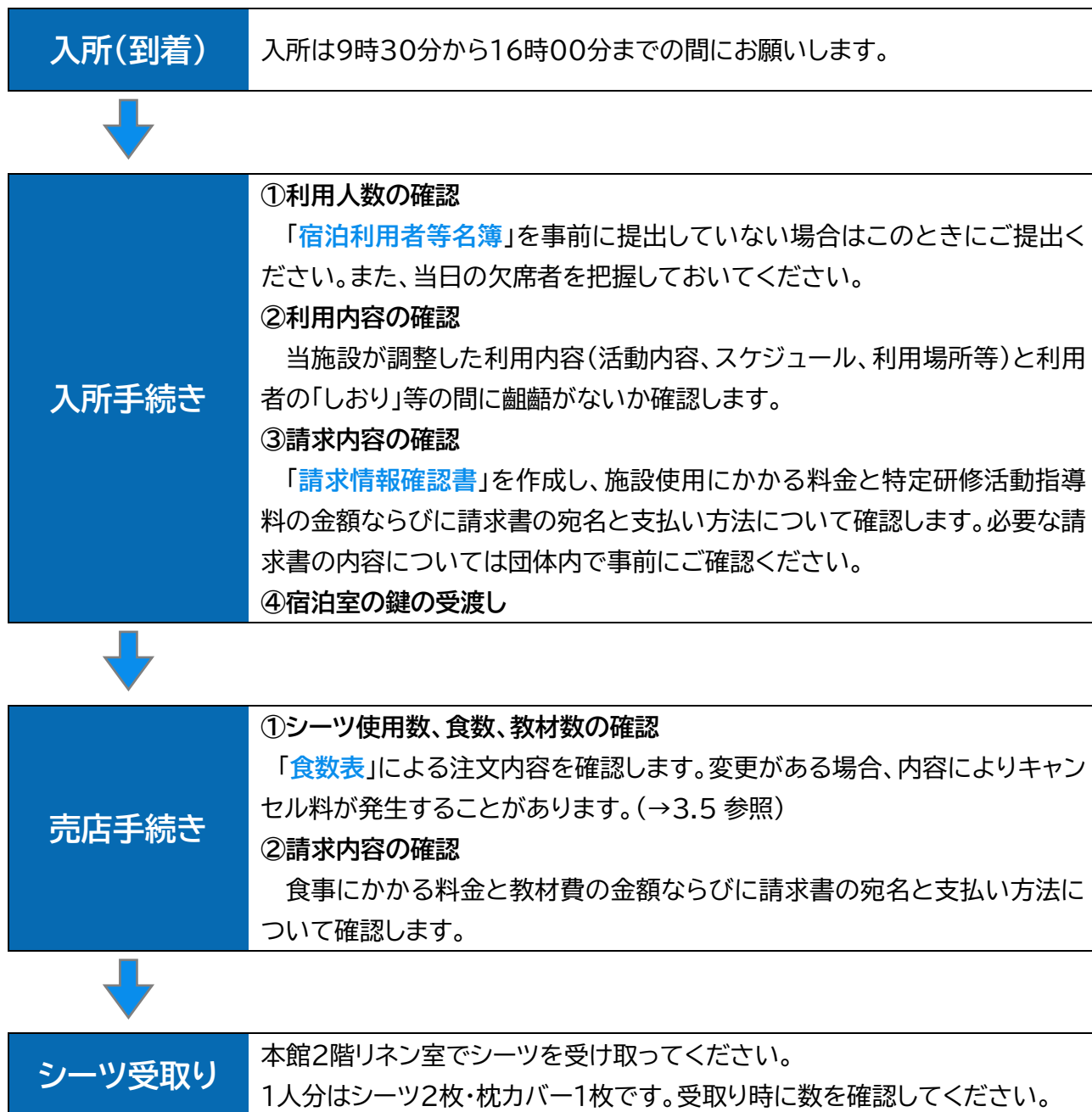
4.2.4 申込み内容の変更

申込み内容の変更は、当施設が定める利用申込書類を利用者が提出し、当施設が受理した時点をもって受付となります。電話や書式に沿わない書面、メール本文のみの記載等での連絡は原則として正式な変更として受け付けませんので、下表を参照して手続きを行っていただくようお願いします。

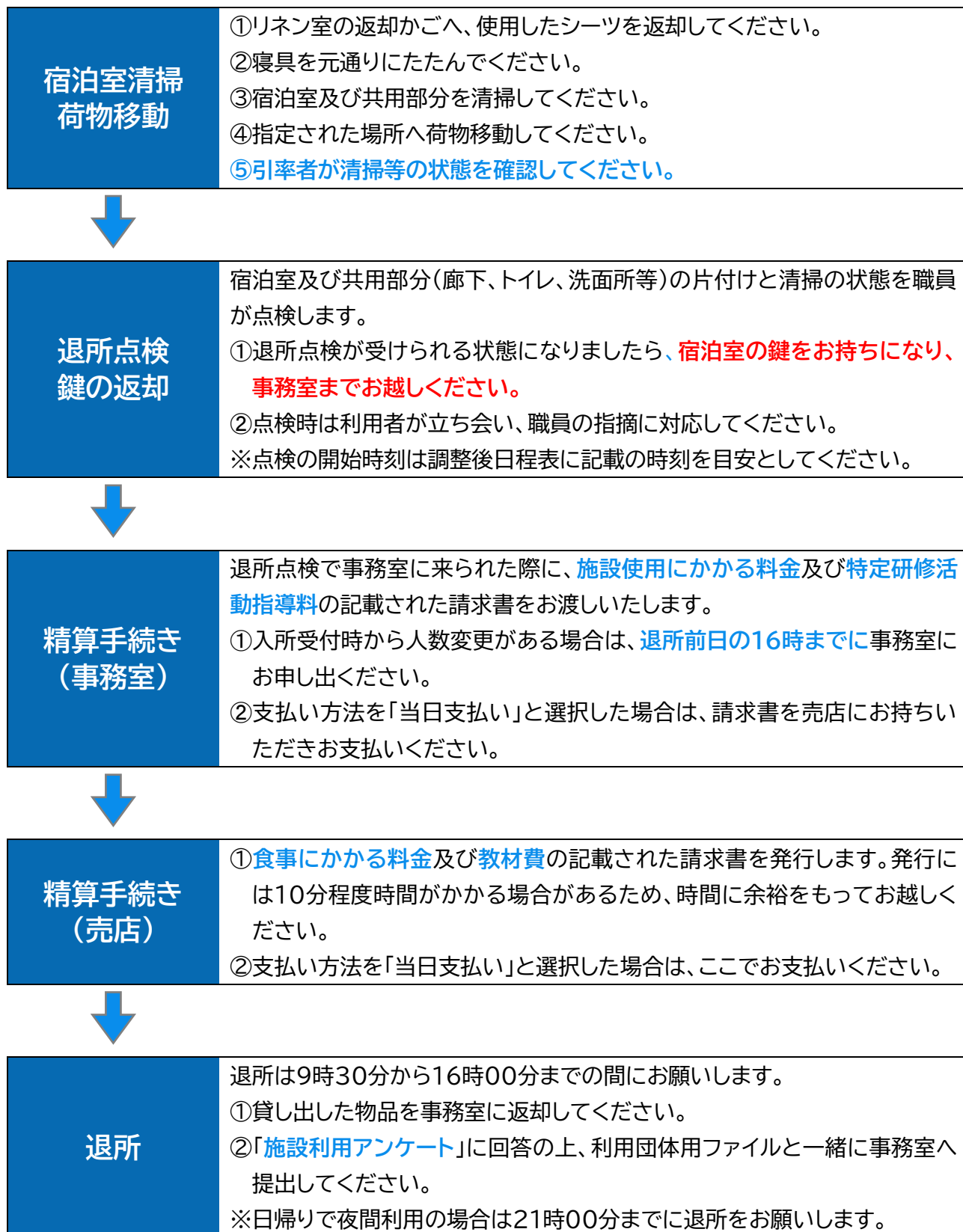
変更事項	手続き	連絡先
(1) 利用日程の変更	①変更の必要が生じた際はすみやかにご相談ください。他団体の利用状況等により、変更できないことがあります。 ②担当職員との相談を経て変更内容が確定した後、「活動日程表」を再提出してください。	事業推進室
(2) 活動内容の変更		
(3) 利用人数の変更	①「活動日程表」を再提出してください。ただし、宿泊定員の都合により、変更をお受けできないことがあります。 ②人数変更に伴い食事・教材の注文数を変更する際は、下記(4)の手続きも必要です。	
(4) 食事・教材注文の変更	○変更・キャンセルの最終期限までに「食数表」を再提出してください。期限後の変更は、キャンセル料をお支払いいただく場合があります。(→3.5)	レストラン

4.3 利用当日の事務手続き

4.3.1 入所日



4.3.3 退所日



5 利用時のルール

5.1 標準生活時間

利用団体が円滑に生活や活動ができるように次の表のように「標準生活時間」を定めています。この時間を基準に計画を立ててください。

時刻	活動内容	留意事項
6:30	起床時刻	○起床時刻よりも早く活動する場合は、事前にご相談ください。
6:50-7:05	クリーンタイム	○本館の共用部分の清掃をお願いします。→ 5.1(2) ○清掃場所は団体毎に予め指定します。
7:15-7:30	朝のつどい	○かんぽラジオ体操広場(荒天時プレイホール)で実施します。 ○一日のはじめとして生活のリズムを作ります。→ 5.1(1)
7:30-9:00	宿泊棟清掃 退所準備	○宿泊棟の清掃を行ってください。→ 5.2.3
7:30-9:00	朝食	○レストランでの食事時間は団体毎に予め指定します。→ 5.2.5
8:45-9:30	退所点検	○退所当日の団体は、職員が宿泊棟の点検を行います。 利用者は点検に立ち合い、指摘に対応してください。 ○点検開始時刻は団体毎に予め指定します。
9:30-12:30	午前の活動	○活動後は利用場所を清掃・整頓してください。→ 5.2.1~2
11:30-13:30	昼食	○レストランでの食事時間は団体毎に予め指定します。→ 5.2.5
13:30-16:30	午後の活動	○活動後は利用場所を清掃・整頓してください。→ 5.2.1~2
17:00-17:15	夕べのつどい	○かんぽラジオ体操広場(荒天時プレイホール)で実施します。 ○団体同士の交流を図ることを目的としています。→ 5.1(1)
17:15-19:30	夕食	○レストランでの食事時間は団体毎に予め指定します。→ 5.2.5
17:15-22:00	入浴	○入浴時間は団体毎に予め指定します。→ 5.2.4
18:00-21:50	夜の活動	○活動後は利用場所を清掃・整頓してください。→ 5.2.1~2 ○既に就寝している団体もいますので、宿泊棟付近では静かに過ごしてください。
22:00	消灯時刻	○警備員が巡回し、扉の施錠や廊下等の消灯を行います。 ○この時刻以降は宿泊棟から外出しないでください。

標準生活時間に関する補足事項

(1) 朝のつどい・タベのつどい

基本的な生活習慣を身に付けるとともに、利用者同士の交流を図るために、「朝のつどい」「タベのつどい」を実施しています。

朝のつどい	タベのつどい
(7:15～7:30 目安) ① 国旗・所旗の掲揚 ② ラジオ体操 ③ 職員からの諸連絡	(17:00～17:15 目安) ① 国旗・所旗の降納 ② 団体紹介あいさつ ③ 職員からの諸連絡 ※下記期間は実施無し 7/1～9/30、12/1～2/28



朝のつどいの風景

- ・野外炊飯等活動中の団体を除き、すべての団体の参加を原則必須としています。
- ・実施場所は「かんぼラジオ体操広場」とし、雨天時等は「プレイホール」で実施します。
- ・司会進行係(1名)、旗係(4名)を、調整プログラムの備考欄で確認の上、係に選出された方は、**開始10分前に集合**し、事前説明を受けてください。
- ・「タベのつどい」での団体紹介の内容は任意としますが、あらかじめ担当者および内容を準備しておいてください。
- ・**7/1～9/30の期間は、熱中症防止のため、タベのつどいは実施しません。**

(2) クリーンタイム

6:50～7:05 までの 15 分間、本館の共用部分の清掃協力をお願いしています。

- ・清掃区域は次頁のとおりです。担当区域は団体ごとに事前に割振りします(各箇所目安人数:4人)。時間になりましたら、随時清掃を開始してください。
- ・清掃に使用する用具は、指定の清掃用具入れより使用してください。
- ・清掃で発生したゴミは、入所手続きの際にお配りしたゴミ袋に入れてください。ゴミ袋は、朝のつどいの後、または退所点検の際に回収します。

クリーンタイム区域図

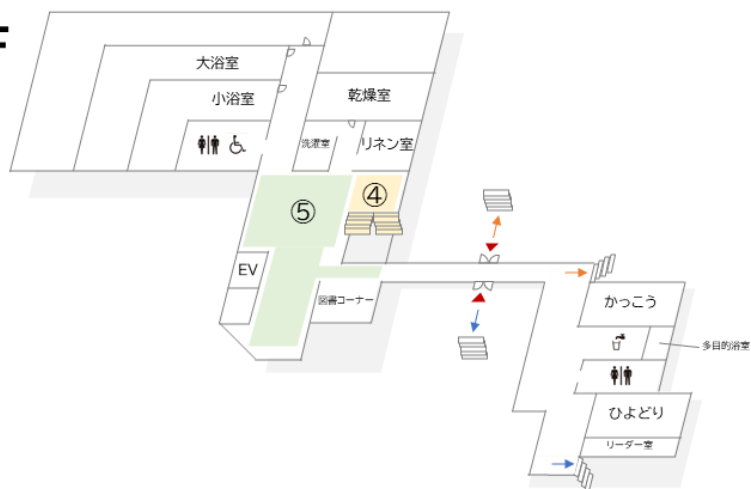
4F



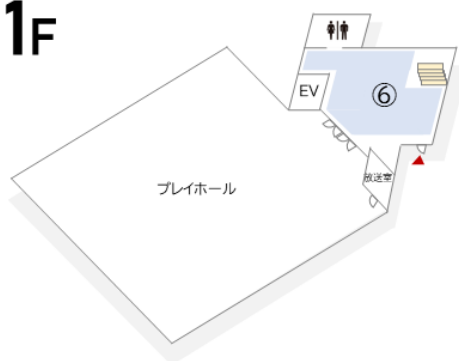
3F



2F



1F



No.	区域名	清掃用具置き場
1	4階廊下・3～4階階段	ラーニングルーム1・2・3
2	玄関ホール	ラーニングルーム4
3	レインボーホール	レインボーホール
4	1～3階階段	レインボーホール
5	リネン室前廊下	リネン室前
6	プレイホール前廊下	プレイホール前

5.2 施設の使い方

当施設は、体験活動とおした青少年の健全育成や青少年教育の振興を図ることを目的に設置されています。利用の際は、当施設が定める利用ルールや公共マナーの順守、設備・備品等の丁寧な取り扱いをお願いします。

施設利用オリエンテーションについて

当施設では、研修生等に向けた「入所オリエンテーション」(シーツの使い方や生活の仕方等の説明)は実施していません。

あらかじめ本手引きや当施設が作成した「施設利用に関する動画」を視聴し、施設の使い方について確認及び指導をお願いします。動画は研修生も気軽に視聴いただけるようになっていますので、事前指導等にぜひご活用ください。



動画リンク
(YouTube)

5.2.1 屋内研修施設

<共通事項>

- ・研修施設内に設置してある備品は自由に利用することができます。事務室で貸し出すことができる物品もあります(2.3 参照)。
- ・**使用後は清掃を行い、物品をもとの位置に戻してください。**窓を閉め、電灯やエアコンのスイッチを切ってください。
- ・事前に割り当てられていない施設を当日利用したい場合は事務室にご相談ください。

<各施設>

(1) 本館ラーニングルーム

- ・使用開始前に事務室で「**使用証**」を受け取り、入口に掲示してください。
- ・使用終了後は「使用証」を事務室に返却してください。

(2) プレイホール

- ・体育館用の室内履きを着用してください。

(3) 別館(ディスカバリーハウス、スタードーム、エクспанションハウス)

- ・通常は建物入口が施錠されているため、使用開始前に事務室で鍵を受け取ってください。
- ・使用終了後は鍵を事務室に返却してください。

5.2.2 屋外研修施設

- ・**自然環境(水、土壌、地形、動植物等)は自然の家の重要な教育資源です。**保全にご協力ください。
- ・使用後は清掃を行い、物品をもとの位置に戻すとともに、食べ残しやごみ、燃え残った薪を確実に処理してください。
- ・事前に割り当てられていない施設を当日利用したい場合は事務室にご相談ください。

5.2.3 宿泊施設

(1) 寝具について

〈寝具の種類〉

※夏季(6～9月)は、③の寝具はありません。



- ← ①枕
- ← ②羽毛布団(かけ布団)
- ← ③二重毛布(かけ毛布) ※6～9月設置なし
- ← ④敷きマットレス(敷き布団)

〈寝具の使い方・返却の仕方〉



↑シーツとシーツの間で寝ます。

寝具を使用する場合は、寝具の汚損防止のため、**必ずシーツと枕カバーを使用してください。**

故意による汚損が発覚した場合は、別途クリーニング代を請求させていただくことがありますので、予めご了承ください。

左の写真のように、ベッドメイキングを行い、シーツとシーツの間に寝ます。



↑シーツと枕カバーに分けて返却してください。

寝具使用後は、シーツと枕カバーを外し、**それぞれに分けて、リネン室の返却カゴにご返却ください。**



<布団の敷き方の詳細>

〈寝具のたたみ方〉



←寝具は**はしごの反対側**に置きます→



はしごの向きに、写真のように**折り目を揃えて置きます**。

はしごが反対側にある場合は、寝具の向きも逆(鏡写し)になります。

【④敷きマットレス(敷き布団)のたたみ方】



【③二重毛布(かけ毛布)のたたみ方】 ※④と同様に長辺部分を**3回**折ります。



柄部分を下にして

【②羽毛布団(かけ布団)のたたみ方】 ※長辺部分を**2回**折ります



【引率者へのお願い】

退所点検時間短縮のため、退所点検を実施するまでの間に、必ず**引率者の最終確認**をお願いいたします。
引率者による確認後、自然の家職員による退所点検を行います。



↑ 布団のたたみ方の詳細

(2) 清掃について

活動計画表の中に、「清掃」の時間を設けてください。退所点検の時間(原則9時)までに、以下の対応をお願いいたします。清掃用具は各宿泊室内または、廊下に備え付けています。

- | |
|--------------------------------------|
| ①シーツをリネン室の回収ボックスへ持っていく →5.2.3(1) |
| ②布団を正確にたたむ →5.2.3(1) |
| ③使用した場所(宿泊室・廊下・トイレ・洗面所 等)の清掃を行う |
| ★二段ベッドになっている宿泊室は、ベッド下の床のゴミも確認してください。 |
| ★トイレはサニタリーボックス内のゴミは退所点検時に回収します。 |

活動に使用した場所(ラーニングルーム、プレイホール 等)は、使用后、備付の清掃用具を使用し、清掃にご協力をお願いいたします。

(3) 空調について

運転は判断基準及びご要望により、運転を開始します(常時運転ではありません)。集中管理のものと個別管理のものがあるため、集中管理の空調をご利用の際は事務室へご連絡ください。

集中管理:	宿泊室ロτζ A、ロτζ B 研修室ラーニングルーム1~4
個別管理:	宿泊室ドリーム A、ドリーム B 研修室ラーニングルーム5~10 ディスカバリーハウス展示室・レクリエーション室

運転の判断基準等は、以下の通りです。

冷房の使用条件	暖房の使用条件
・原則として、外気温が 28℃以上	・原則として、外気温 10℃以下
冷房の使用可能時間	暖房の使用可能時間
・研修室:原則として、 8:30~22:00まで	・研修室:原則として、 8:30~22:00まで
・宿泊室:原則として、 19:00~3:00まで	・宿泊室:原則として、 20:00~3:00まで

※空調の運転基準を満たさない場合は、宿泊室及び研修室の扇風機を活用ください。

(4) 貴重品・遺失物について

- ・貴重品の管理は、各自・各団体でお願いします。
- ・玄関ホール横の廊下にコインロッカー(100 円硬貨返却式)がありますので活用ください。
- ・利用当日の忘れ物や拾得物は、玄関ホール横の「忘れ物置き場」にて保管します。その後、当施設事務室で 1 か月保管し、それを経過した場合は、処分させていただきます。
- ※ 飲食物等は、腐敗の恐れがあるため、早期に処分させていただきます。
- ・後日に、遺失物等が発見された場合は、取りにお越しいただくか、着払いでの発送とします。



〈忘れ物置き場〉

5.2.4 入浴施設

(1) 利用可能な時間帯

17:15～22:00(研修生)／ 22:00～22:50(引率者のみ可)

※ 実際のご利用においては、団体ごとに入浴時間を指定させていただきます。

上記時間内で、自由に利用いただけるものではありません。

(2) 確認事項

- ・シャンプー、リンス、ボディーソープ、石鹸等の備え付けはありません(要持参)。
 - ・当日の利用者の男女比等で、男女の浴室が異なります。入口の表示を確認して入室してください。
 - ・各団体の活動時間や内容、混雑状況等によっては、複数団体での利用をお願いします。
 - ・閑散期や極端に利用人数が少ない場合は、節水や省エネ等 SDGsの取組として、小浴室のみの提供とさせていただきます。
 - ・事情により、共同浴室を利用できない場合は、多目的浴室(ドリーム A 棟内)を利用することができます。事務室にご相談ください。
 - ※ご利用の際は、給湯器のスイッチ(家庭用と同じ使用方法)を ON にしてください。
 - ・浴室に備え付けのドライヤーがあります(大浴室に4台、小浴室に3台)。ドライヤーを使用されたい場合はそちらをお使いください。ご持参されたドライヤーをご利用の場合、各宿泊室(2階構造の宿泊室は、1階・2階それぞれ)の許容電力量が2000W であることから、複数台つなぐとブレーカーが落ちる原因にもなりますのでご注意ください。(1台を交代でお使いいただきますようお願いいたします。)
 - ・多目的浴室に入浴介助用のシャワー用チェア 2 台、マット2つを常備しております。
- 必要に応じてお使いください。

【引率者へのお願い】

- ① 体を洗ってから浴槽に入る・タオルを湯舟につけない・給水口をふさがない・体を拭いて脱衣場にあがることを指導ください。
- ② 割り当ての時間が終了する際に、忘れ物がないか・腰掛け等が整頓されているか・脱衣場の床が水浸しになっていないか・シャワーやカランの水を出しっぱなしにしていないかを確認ください。
- ③ 浴室使用後に忘れ物がないか確認してください。

5.2.5 レストラン

(1) 営業時間(事前に食事注文がある場合のみ営業)

朝食 7:30～9:00 / 昼食 11:30～13:30 / 夕食 17:15～19:30

※ 実際のご利用においては、団体ごとに食事時間を指定させていただきます。

営業時間内で自由に食事をとっていただけるものではありません。

(2) ご利用にあたって

- ① 予め、靴の泥は外で落としてください。
- ② 手荷物(リュックや水筒等)は持ち込まないでください。
- ③ 手洗い・手指消毒をお願いします。
- ④ レーンから食事を盛り付け、一旦テーブルにおいてください。その後、ご飯・飲み物・カウンター提供の料理をお取りください。

⑤ 混雑が予想される場合は、使用するテーブルを指定させていただく場合がございます。

⑥ 食器返却のルールにご協力ください。

- ・スプーン、箸を指定場所に返却
- ・紙ナフキンやビニールは備え付けのゴミ箱へ
- ・食べ残し、果物の皮等の生ゴミのみを洗浄場所へ
- ・食器は洗浄後、洗浄プールに
(食器が割れるため、投げ込み禁止)



<食器返却口>

⑦ 食事後は、テーブルを拭き、椅子を元に戻します。

⑧ 食事・飲み物の持ち帰り、持ち出しは禁止します。

⑨ レストラン内で嘔吐した場合は、レストラン職員または自然の家職員へお声掛けください。

※他団体も含め、**全体の食事注文数が20食未満の場合、ビュッフェ形式ではなく、盛り付け食による提供**とさせていただきます。

※二次調理用にミキサーとフードプロセッサの貸出ができます。ご希望の際はレストラン職員にお声掛けください。

(3) 食物アレルギーをお持ちの方へ

食物アレルギーをお持ちの方は、「食物アレルギー事前確認票」を3週間前までにご提出ください。

また、代替食の提供がある場合は、引率者及び本人との確認を行いますので、必ずレストラン職員にお声掛けください。

(4) 配膳時における食事の個数制限について

おかわりを考慮し、十分な量を調理していますが、最初に特定の食事を多量に取られると同じ団体であっても食事が行き渡らないことが散見されます。(例: 児童10人がコロッケを10枚ずつ取ってしまい、後ろに並ぶ児童分が足りず、不足分を揚げるのに15分要し、結局食べることができなかった。)

そのため場合によっては、**最初は「1人につき〇個まで」といったように制限**をさせていただきます。行き渡った後のおかわりは可能です。

(5) 混食について

全てレストランでの注文食材にするか、全て持ち込み食材にするかを選択してください。

レストラン注文食材 と持込食材(スイカ割り等のフルーツも含む)を混在した状態で調理する組合せは、万が一、食中毒が起こった場合、原因の特定ができないためご遠慮ください。

食材の持込については、保存用の冷蔵庫を用意しておりませんので、各自で食材の管理・調達をお願いします。

(6) 水筒への給水について

予め、水筒を空にし、すすいでください(洗面所や手洗い場で済ませておきます)。

レストラン出口から、レストランに入り、各自で補充・給水してください。(給水時間: **6:30~19:30**)

※ 食事のタイミングごとに補充・給水する場合、レストラン(食事レーン)に並ぶ前に、レストラン出口にある水筒置き場に水筒を置いてください。



<水筒置き場>



<お茶・冷水補充場所>

5.2.6 売店

・営業時間は、**9:00～17:00** です。入所手続き後に、以下のことを売店職員とご確認ください。

①利用期間中の食事注文数

②施設使用料や食事料金の支払い方法

・夜間の活動に必要な教材等を売店で受け取る必要がある場合は、必ず、営業時間内にお済ませください。(例:キャンプファイヤーの灯油、クラフト教材)

〈キャンプファイヤーの薪置き場について〉

第1キャンプファイヤー場： 食堂下の薪置き場	第2 キャンプファイヤー場： フリースペース
	

※各薪置き場から、薪を運び準備をお願いします。

※キャンプファイヤーで使用した灯油の容器は、事務室へ返却ください。

5.3 ごみの処理

基本的に、ゴミは持ち帰りとしています。なお、レストランに注文した野外炊飯の食材ゴミに限り、所定の場所へ捨てる事が可能です。その際のゴミ袋は、食材が入っていた袋とします。

売店(自販機含む)・レストランで購入したものから生じたゴミ	
ジュースの缶・瓶	・自販機横の「空き缶・空き瓶」入れに回収
ペットボトル	・ラベルとキャップ:「燃えるゴミ」入れに回収 ・ボトル:「ペットボトル」入れに回収
弁当の容器や生ゴミ ※ 持参弁当は除く	・食材受け取り時に配布される指定袋に回収 (所定のゴミ置き場へ)
野外炊飯の食材の生ゴミ・燃えるゴミ (ビニール・トレー・アルミホイル含む)	
持ち込みにより生じたゴミ	
弁当の容器や生ゴミ	・持ち帰り ・指定袋を購入の上、所定のゴミ置き場へ
食材持ち込みによる野外炊飯での生ゴミ・燃えるゴミ	
ジュースの缶・瓶	・持ち帰り ※ 自販機横の「空き缶・空き瓶」「ペットボトル」 入れに入れないこと。
ペットボトル	
トイレの汚物入れ(サニタリーボックス)	・自然の家が回収
その他の不燃ごみ(キャンプファイヤーのトーチに使用した針金等)	・持ち帰り
クリーンタイム・奉仕活動で拾ったゴミ	
各種ゴミ	・自然の家が回収

※ 指定袋:筑前町指定の事業所用ゴミ袋(筑前町指定の一般ゴミ袋とは異なります。)

小袋(55 リットル)120 円/枚

大袋(90 リットル)240 円/枚

5.4 飲酒・喫煙

・許可・指定された場所・時間以外での飲酒は禁止です。飲酒を伴う懇親会の実施を希望される場合は申請書の提出が必要です。詳細はお問い合わせください。

・飲酒による他団体への迷惑行為や施設・備品の汚損や破損があった場合は、その後の利用をお断りすることがあります。

・『健康増進法』及び『山林火災防止』のため、屋外であっても敷地内は全面禁煙です。

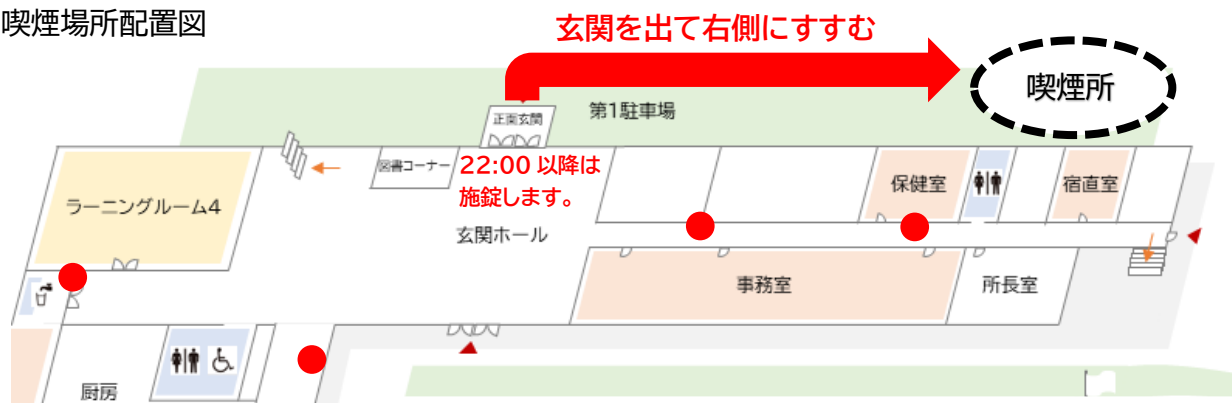
(加熱式たばこ、電子タバコ含む)

・施設内の喫煙は下記の場所に指定しています(加熱式タバコ、電子タバコも含む)。

・また、所定の喫煙場所以外での喫煙があった場合は、飲酒同様に、その後の利用をお断りすることがあります。

・消灯 22:00～翌 6:30 までは、玄関を施錠いたしますので、喫煙目的含め玄関からの出入りはご遠慮ください。

※喫煙場所配置図



● : 消火器

5.5 駐車場

・玄関前の「第1駐車場」、施設入り口すぐ左側の「第2駐車場」をご利用ください。

・その際、白線内での駐車に留意してください。

第1駐車場 普通車約40台 大型車(バス等)約4台

第2駐車場 普通車約35台 大型車(バス等)約4台

※ バスの止め置きについては、原則第 2 駐車場をご利用いただきます。

・2輪バイクは、第1駐車場の所定範囲に駐車してください。

・駐車場が不足する場合がありますので、可能な限り、乗り合わせでの来所をお願いします。

・駐車場及び敷地内での事故等については、当施設は責任を負いかねます。



< 第1駐車場 >



< 第2駐車場 >

6 提出書類

No.	名称	提出期限	全団体	該当する 団体のみ
1	活動日程表	利用初日の2か月前	○	
2	食数表	利用初日の2か月前	○	
3	食物アレルギー事前確認票	利用初日の3週間前		○
4	施設使用料金に係る一部免除申請書	利用初日の1週間前		○
5	野外炊飯実施計画書	利用初日の1週間前		○
6	宿泊利用者等名簿	利用初日の当日	○	

○利用申込書類は本所ホームページからダウンロードできます。

書式の改訂を随時行っています。過去の申込書類はそのまま使用せず、最新版をご利用ください。

<https://yasu.niye.go.jp/download/>



[illegible]

○利用目の2カ月前までに「食数表」といって「上田藩」に提出する。

○荒天時の欄に活動内容を記載してない場合、利用当日に急ぎよ希望する活動があってもできかねる場合があります。

○利用日2カ月前を切って提出された場合、活動場所・活動時間等のご希望に添えられない場合があります。

[illegible]

○禁止事項に該当する行為、その他利用に当たっての留意事項に反する行為を行った場合は、虚偽の申告があった場合は、今後の利用申込みを制限します。

〒838-0202 福岡県朝倉郡城前町三箇山1103 国立夜須高原青少年自然の家 事業推進係 (TEL 0946-42-5811 FAX 0946-42-5880) Email yasui-jigyou@nive.go.jp

食数表

(食事・教材等申込書)

※ 送付・送信時にどちらかにチェックを入れてください。 2026.4.1 改訂

☐ 初回の提出	☐ 2回目以降の提出
初回のご提出は、活動日程表と併せて「国立夜須高原青少年自然の家」まで mailアドレス: yasu-jigyou@niye.go.jp FAX: 0946-42-5880 提出期限: (宿泊利用) 2か月前 (日帰り利用) ご予約日の翌日15時まで	その後の変更(2回目以降の提出)は 売店「コンパスグループ・ジャパン(株)」まで mailアドレス: 35512@compass-jpn.com FAX: 0946-42-5994

※ 食数の変更が生じた場合は、速やかに売店までFAX等にてご通知願います。

フリガナ				フリガナ			
団体名				担当者			
TEL		FAX		携帯番号			
利用期間	令和	年	月	日 ()	～	月	日 () 【泊 日】

1 レストラン食

※ 変更期限: 3日前15時まで

※ 当日の食事数が20食以下の場合は、盛り付け食となります。

日付	朝食(7:30～9:00)				昼食(11:30～13:30)				夕食(17:30～19:30)			
	計	幼児*	小学生	中学以上†	計	幼児*	小学生	中学以上†	計	幼児*	小学生	中学以上†

☐ 外部講師、カメラマン、バスの運転手等を含む。 * 幼児(未就学児)は、3歳以上～小学生未満のお子様を対象となります。

† 外部講師、カメラマン、バスの運転手等の方が食事を注文される場合は、その分も含めた数でご記入いただき、上記 ☐ (チェックボックス) にチェックをお入れください。(領収書は別に発行できます。)

2 シーツ

	初 日		交換日(交換する場合)	
	受取日	組数	受取日	組数
宿泊室用		名		名
テント泊用		名		名

3 野外調理等メニュー (もちつきメニュー含む)

※ 変更期限: 3日前15時まで

アレルギーの確認(HPより成分表をご確認ください) ☐ 確認しました

実施日	時間	メニュー(1セット6人分)	単価[円]	セット数

4 まき(野外調理・キャンプファイヤー)等

実施日	時間	品 名	単価[円]	セット数

5 弁当・飲物・補食等

※ 変更期限: 7日前15時まで ※ 弁当は1種5個、おにぎりは1種10個

受取日	時間	品 名	単価[円]	数

6 教材等(荒天時活動予定分もご記入ください)

実施日	品 名	単価[円]	数

アレルギーの有無 (○をつけていただき、アレルギー確認票を提出してください)	有	無
---	---	---

その他・備考

※ メニュー等の詳細については「利用の手引き」をご覧ください。

「レストランやす高原」食堂(売店)業務委託業者
コンパスグループ・ジャパン株式会社 夜須高原店
TEL 0946-42-5992
FAX 0946-42-5994
mailアドレス 35512@compass-jpn.com

食物アレルギー事前確認票

ページ数

(ご利用開始日の3週間前までに提出ください)

いただいた個人情報は、食物アレルギー等の食材の除去対応の目的以外には利用致しません。

1. 団体情報

団体名		
団体引率者氏名		(氏名)
連絡先	電話	
	FAX	
	メール	
ご利用期間		令和 年 月 日 ~ 月 日

2. 対応方法について

ウェブサイト掲載の「アレルギー表」「食物アレルギー対応について」をご確認の上、
下記表に、食物アレルギー対応者情報と、(A)～(C)いずれかのご希望対応をご記入ください。



「アレルギー表」「食物アレルギー対応について」

レストランでは調理・提供時のコンタミネーションの可能性がございます。ごく微量の摂取にて、アナフィラキシーショック等、
重篤な症状を起こす可能性のある方は、万が一の事態を考慮し、(B)の持ち込み対応を頂きますよう、お願いいたします。
上記の場合は、「食物アレルギー事前確認表」をご提出の上、事前にご相談ください。

◆食堂対応

(A) 自己除去

(B) 持ち込み対応

(C) 代替食対応

◆弁当・野外炊飯対応

(A) 自己除去

(通常メニューから選択)

(B) 持ち込み対応

(C) 代替食対応

対応方法、食物アレルギーについてのご相談は、
下記レストラン窓口までご連絡ください。

コンパスグループ・ジャパン株式会社夜須高原店

食堂TEL: 0946-42-5992

FAX: 0946-42-5994

Mail : 35512@compass-jpn.com

(受付時間 午前9時～午後5時)

※ 食堂のご利用人数に応じて、提供方法を変更させて頂く場合がございます。

	氏名	性別	年齢	食物アレルギー			対応		アナフィラキシーショック等、重篤な症状を起こす可能性はありますか	エビ・カニ・甲殻類は所持していますか	記載の内容は学校生活管理指導表と一致していますか	備考
				アレルギー食材			食堂	野外炊飯弁当				
例)	青少年 太郎	男	14	たまご	ごま		B	A	いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
1									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
2									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
3									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
4									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
5									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
6									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	
7									いいえ・はい	いいえ・はい	いいえ・はい 不明	

別紙「食物アレルギーの対応について」を確認の上、上記事項に同意します。

令和 年 月 日

団体引率者名

国立夜須高原青少年自然の家 施設使用料金に係る一部免除申請書

(あて先)

国立夜須高原青少年自然の家 所長

「独立行政法人国立青少年教育振興機構施設使用料金等規程」第3条に基づき、次のとおり、施設使用料金の一部免除を申請します。

令和 年 月 日

団体名				
代表者	職名	氏名		
使用年月日	令和 年 月 日	～	月 日	
理由 (いずれかに☑)	☐ 学校（部活・サークルを含む）の利用かつ、要保護・準要保護世帯の子供（小学生～高校生）及びその保護者			
	☐ 経済的に困難な子供を支援する団体や障害のある子供を支援する団体の利用かつ、子供（小学生～高校生）及び大人（その保護者並びに団体指導者） <small>※当該活動に対して自治体から公的支援を受けている場合を除く。 ※大人については、子供たちに帯同する場合または子供たちの活動の下見が対象。</small>			
対象人数	施設利用者数	人		
	うち 免除申請者	人		

<処理欄>

使用年月日	令和 年 月 日	～	月 日
対象人数	施設利用者数	人	
	うち 免除申請者	人	

決裁日： 令和 年 月 日

【決裁欄】		団体NO：	利用NO：	
所長	次長	企画指導専門職	事業推進係	受付

野外炊飯実施計画書

1、利用団体【団体名： _____ / 野外炊飯担当者 _____】

2、タイムテーブル【実施日： _____ 月 _____ 日】

	食材受け取り（売店）	集合・説明開始	点検開始	活動終了
予定時刻	：	：	：	

3、担当者の配置 ※引率者が少ない場合は、②③の重複は可能です。

(1)「準備～活動～片付け」における役割分担【内は引率者の担当者】

①『薪割り・かまど担当』（1班に1～2名 引率者は1炊飯場につき1～2名）

【 _____ 】【 _____ 】

・薪の受け取り ・薪割りの安全管理 ・火起こしと火の安全管理 ・かまどの清掃指導

②『食材担当』（1班に1～2名 引率者は全体で1～2名）

【 _____ 】【 _____ 】

・売店での食材受け取り ・食材運搬 ・食器・用具担当の補助

③『食器・用具担当』（1班に1～2名 引率者は1炊飯場につき1～2名）

【 _____ 】【 _____ 】

(2)「活動中」における各炊飯場の安全管理分担(団体引率者の担当配置)

	第2炊飯場	第3炊飯場	第4炊飯場	第5炊飯場	第1キャンプ場
班構成	人× 班 人× 班	人× 班 人× 班	人× 班 人× 班	人× 班 人× 班	人× 班 人× 班
担当者					

4、食材・薪の確認 【調理メニュー： _____】

(1) 売店への発注【 ☐ 注文あり ☐ 持ち込み】 ※☐に✓を付してください⇒「注文あり」の場合 ☐ 6人分× () セット ☐ 3人分× () セット☐ 薪 () 束 ☐ 炭 () 箱(2) 食物アレルギー対応 【☐ 対応が必要 ☐ 対応は不要】 ※☐に✓を付して下さい

①対応の内容 (例：「対応用に鍋が1つ必要」「持ち込みのルーで作る」など)

5、その他（要配慮事項など）

※※禁止事項※※

- ①持ち込み食材と注文食材の混合調理
②調理物、残食材の持ち出し
③飲酒

「自然の家」事務処理欄

受理日	月	日
野外炊飯担当職員		
薪の使用料（確定）		束

国立夜須高原青少年自然の家 宿泊利用者等名簿

記入日 年 月 日

団体名		記入者氏名	
最大 利用人数	男性 女性	名 名	合計 名
利用期間		年 月 日 ～ 年 月 日	

■代表者（責任者）の方は◎を、引率者の方は○を付けてください。

■各日の利用者が分かるようにチェックをしてください。

（例）宿泊する人に「○」、宿泊しない人に「×」、日帰りの人に「日」など。

	代表 者等	利用者氏名	性別	年齢 (学年)	1日目 日	2日目 日	3日目 日	4日目 日	備考 外国籍の方は国籍
1			男・女						
2			男・女						
3			男・女						
4			男・女						
5			男・女						
6			男・女						
7			男・女						
8			男・女						
9			男・女						
10			男・女						
11			男・女						
12			男・女						
13			男・女						
14			男・女						
15			男・女						
16			男・女						
17			男・女						
18			男・女						
19			男・女						
20			男・女						
21			男・女						
22			男・女						
23			男・女						
24			男・女						
25			男・女						
宿泊人数				男性					
				女性					

◆受付時に提出してください。

※ この用紙をコピーしてご利用ください。また、ホームページより様式のダウンロードが可能です。

- ・日帰りの参加者や講師・カメラマン等を含め、施設を利用する全員を記名してください。
- ・26人目からは、行が非表示になっています。
- ・欄が足りない場合は、付け足してください。余る場合は、削除してください。

7 国立夜須高原青少年自然の家について

7.1 国立青少年教育振興機構とは

独立行政法人国立青少年教育振興機構(平成 18 年 4 月発足)は文部科学省所管の組織で、我が国における「青少年教育の振興」及び「健全な青少年の育成」を目指し、海・山・川の自然あふれる27の地方施設(国立青少年交流の家・青少年自然の家)と都市型の青少年教育施設である国立オリンピック記念青少年総合センターを有し、自然体験活動や集団宿泊活動をはじめ、科学・文化芸術・国際交流といった多様な体験活動の機会と場を長年にわたり提供しています。

7.2 青少年教育振興機構のMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)

私たちの使命 — Mission

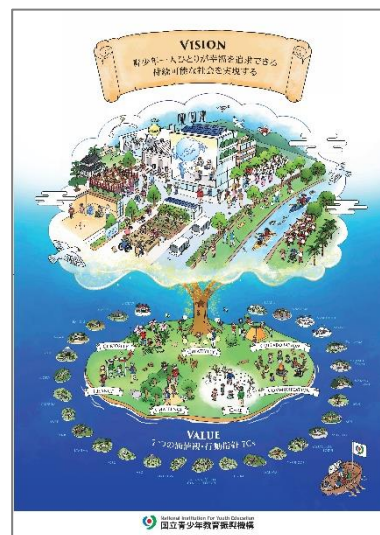
青少年教育の振興、健全な青少年の育成

私たちが目指すもの — Vision

青少年一人ひとりが幸福を追求できる持続可能な社会を実現する

私たちの価値観、行動指針 — Value

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. Curiosity | 私たちは、何事にも好奇心を持ち、 |
| 2. Change | 枠にとらわれずに変化し、 |
| 3. Challenge | 失敗を恐れずにチャレンジします。 |
| 4. Care | 私たちは、すべての人たちを思いやり、 |
| 5. Communication | 多様性を重んじ、対話と共感を大切にします。 |
| 6. Collaboration | 私たちは、多様な人々や組織と協働し、 |
| 7. Creativity | 青少年のさらなる体験の場を創造していきます。 |



私たちの公約 — Commitment

私たちはミッション・ビジョンを達成するために、28 施設が一つの船に乗って、7Cs を羅針盤に七つの海(7Seas)を渡っていきます。

7.3 当施設の特色・取り組み

当施設は、人と自然の関わり合いの中で育まれてきた「里地里山の自然と文化」が息づく場所に位置しています。

そこには、針葉樹の造林地、かつて燃料や肥料を産出した雑木林、生活道具を産み出した竹林や草原、食料生産の場である田畑、それらを支える小川やため池などがあります。また、人間の営みにより長い年月にわたって維持・形成された二次的自然環境が存在し、多様で貴重な生物が生息しています。

このような人と自然が共生する中で育まれた生活の智慧(ちえ)は伝統文化を育み、地域の祭事と共に、「里地里山」文化として受け継がれてきました。

一方、昨今の農山村地域の少子高齢化によって、耕作放棄地の増加、文化継承の危機、森林の荒廃、竹害の拡大など、里地里山ならではの問題も発生しています。

里地里山の「美」「醜」の両面を併せ持つ地の特徴を活かし、『里地里山』の自然と文化に根ざした青少年教育施設」として体験の場や機会を提供しています。

(1)ESD・SDGsの取り組み

“持続可能な社会”を目指して、その人材づくりのための教育(ESD)や世界共通の目標(SDGs)への取り組みを推進しています。

令和2年10月、当施設は「地域 ESD 活動推進拠点」に登録されました。

(2)「早寝早起き朝ごはん」国民運動の普及啓発

家庭における食事・睡眠などの乱れを、各家庭や子供の問題として見過ごすことなく、社会全体の問題としてとらえ、子供たちの基本的な生活習慣を確立させ、生活リズムの向上を図るための取組を推進しています。

(3)民間企業等との連携

民間企業等の皆様と連携することで教育事業等を質的・量的に拡充し、更なる青少年教育の振興に貢献できるよう様々な試行に取り組んでいます。

<マスコットキャラクター>

創立20周年を記念して当施設のマスコットキャラクター「きずレンジャー」が誕生しました。当時中学2年生の女子生徒がデザインしたこのキャラクターは、夜須高原の特産品「木酢(きず)」を題材に作成されました。

「木酢」は柑橘類で「筑前姫酢」とも言われています。かぼすより皮が薄く、酸味がまろやかで果汁がたっぷりなのが特徴で、旬は10月～12月です。

